

令和6年度(2024年度)

大学院学生 募集要項

目 次

0 大学院研究科のアドミッションポリシー 02

1 大学院入学試験 概要

① 入学選考実施一覧	10
② 募集研究科・専攻 募集人員	11
③ 入学選考日程表	13

2 共通項目

① 出願方法	18
② 出願書類	19
③ 書類送付先・問い合わせ先一覧	24
④ 合格発表および入学手続	25
⑤ 学費等一覧表	27
⑥ 奨学金・入学辞退に伴う学費等返還・その他	30

3 出願資格

① 学内入学選考	32
② 一般入学選考	33
③ 社会人入学選考	37

4 選考方法

全研究科共通注意事項	44
① 法学研究科	45
② 商学研究科	48
③ 経済学研究科	51
④ 総合理工学研究科	54
⑤ 薬学研究科	59
⑥ 総合文化研究科	65
⑦ 農学研究科	68
⑧ 医学研究科	71
⑨ 生物理工学研究科	72
⑩ システム工学研究科	75
⑪ 産業理工学研究科	78

5 その他 81

大学院研究科のアドミッションポリシー (入学者受け入れの方針)

本学は、未来志向の「実学教育」と「人格の陶冶」を建学の精神とし、「人に愛される人、信頼される人、尊敬される人の育成」を教育理念として掲げてきました。この「建学の精神」と「教育理念」は、知識基盤社会へ転換しようとする21世紀の日本において、いっそう必要とされる理念であると自負します。本学が、総合大学として各学部の特徴を生かしながら、共に手を携えて目指そうとしているのは、「実学教育」と「人格の陶冶」の融合です。真の「実学」とは、必ずしも直接的な有用性を志向するだけでなく、その事柄の意味を学び取ることを含みます。現実立脚しつつも、歴史的展望を持ち、地に足をつけて、しなやかな批判精神やチャレンジ精神を発揮できる、創造性豊かな人格の陶冶を志向するものです。「自主独往の気概に満ち」、生涯にわたって自己の向上に励み、社会を支える高い志を持つことが「人に愛され、信頼され、尊敬される」ことにつながります。このような学生を社会に送り出すことが、これからの時代に、本学が目指す社会的使命であります。近畿大学大学院のアドミッションポリシー（入学者受け入れの方針）は、上述の教育方針に基づいており、本学の「建学の精神」と「教育理念」に共感する入学者を国内外から広く受け入れます。

法学研究科

法律学専攻

本研究科の教育目的は、近畿大学の建学の精神である実学教育と人格の陶冶を踏まえて、法学及び政治学の分野において、その根底に横たわる重要問題や最先端の内容を教授・研究し、学生に修士（法学）や博士（法学）にふさわしい幅広い基盤的な専門知識・考え方を修得させるとともに、専攻する各研究分野における応用力を身につけさせ、国際社会、国家または地域社会の発展に向けて、実際に指導的な役割を果たし得る多種多様な専門家を養成することにあります。したがって、具体的には以下のような人の入学を希望します。

博士前期課程

1. 現代社会における諸問題を解決するため、法学・政治学の観点からさらに研究を深めようとする人。
2. 法学・政治学に関連する資格を取得し、それを通じて有意義な社会活動に取り組もうとする人。
3. 法学・政治学についてさらに研究を深め、社会人としての活動にその研究において培った能力を生かそうとする人。

本研究科の入学選考では上記の人材を選抜するために、学内推薦入学選考（7月）、学内入学選考（9月、2月）、一般入学選考（9月、2月）及び社会人入学選考（9月、2月）を実施し、入学者各自の適性及び経験に応じた入学選考を選択できるようにし、選考にあたっては筆記試験・口頭試問等を行い総合的に判断しています。

博士後期課程

1. 法学・政治学の各専攻分野において自立した研究者として独創的な研究を行おうと意欲する人。
2. 国内・国外の多様な方面で、法学・政治学に関する高度な専門性が求められる分野で活躍しようとする人。
3. 法学・政治学の専門性を踏まえて、高度に複雑な現代社会における問題を発見し、その解決案を提示して、その成果を社会人としての活動に活かそうとする人。

本研究科の入学選考では上記の人材を選抜するために、一般入学選考（2月）及び社会人入学選考（2月）を実施し、入学者各自の専門的学識・修士論文等に加えて適性及び経験に応じた入学選考を選択できるようにし、選考にあたっては筆記試験・口頭試問等を行い総合的に判断しています。

商学研究科

商学専攻

商学研究科は、商学、経営学、会計学、ITビジネス、キャリア・マネジメント学、スポーツマネジメントの6つの分野のうち、いずれかの分野に軸足を置いて高度な専門知識を修得し、実務界・学界等で活躍・貢献できる人材を育成することを目的としています。下に示すように、本研究科の前期課程では、それらの6つの分野に関心を持ち、高度な専門知識の修得に意欲を持つ人を積極的に受け入れています。また、本研究科の後期課程では、専攻しようとする前述の6分野について、将来、研究者になることを目指し、より高度な専門知識と豊かな学識の修得に意欲を持つ人を受け入れています。

博士前期課程

1. 本研究科の6つの分野のうち、専攻しようとする分野に強い興味・関心と基礎知識を持つ人。
2. 高度な専門知識の修得に意欲を持つ人。
3. 高度な専門知識を有するスペシャリストとして実務界で活躍することを希望する人。

博士後期課程

1. 専攻しようとする分野に強い興味・関心と高度な専門知識を持つ人。
2. 高度な研究能力の修得に意欲を持つ人。
3. 外国語に関する読解力等の十分な語学力を有する人。

上記のポリシーを実現するために、国内外から広く人材を受け入れることを想定して、学内推薦入学選考、学内入学選考、一般入学選考、社会人入学選考、外国人留学生入学試験を実施します。各選考・入学試験では、外国語・専門科目の成績（学力試験成績、学部成績、博士前期課程成績）に加えて口頭試問を課します。これによって、学士課程（博士前期課程志願者）あるいは博士前期課程（博士後期課程志願者）における基礎学力、語学力、国際的な視野と高い倫理観、商学専攻関連の高度な専門知識、社会に貢献する意欲等を測り、総合的な評価を通じて選抜を行います。なお、外国人留学生入学試験では、日本学生支援機構実施の「日本留学試験（日本語）の成績」の結果も加味します。

経済学研究科

経済学専攻

経済学研究科の教育目的は、近畿大学の建学の精神である実学教育と人格の陶冶に則り、経済学と関連領域における高度な専門知識の修得と研究遂行能力を養成すること、現実の経済・社会が直面する様々な問題に対して積極的に関与できる人材を育成することにあります。また、実社会において活躍している社会人に対しては、経済学の高度な専門知識の修得を通して、より幅広く深い見識を有する人材を育成することにあります。これを実現するために、以下のような学生を求めます。

博士前期課程	<ol style="list-style-type: none"> 1. 経済学の知識を活用して、現実の経済・社会が直面する諸問題を具体的に解決したいという強い意欲を持つ人。おもに「学内入学選考」と「一般入学選考」によるもので、入学試験問題は、経済学の基礎的分野と専門的分野の双方から出題されます。外国語と口頭試問も合わせて総合的な評価によって選抜を行います。 2. 高度な専門能力の修得に意欲を持つ人。おもに「学内推薦入学選考」によるもので、本学部の成績と推薦書および口頭試問の総合的な評価によって選抜を行います。 3. 社会人としての自らの経験を踏まえて、経済学を学びより幅広い見識を持ちたいという意欲を持つ人。おもに「社会人入学選考」によるもので、社会人として実績のある受験生を対象にしています。志望する研究題目と研究計画書を出願時に提出し、これに関する論述試験と口頭試問を総合的に評価して選抜します。「夜間主コース」も設けて、働きながら大学院を修了できるように配慮しています。
博士後期課程	<ol style="list-style-type: none"> 1. 経済学の各分野において、自立した研究者として独創的な研究を行う意欲を持つ人。 2. 高度な専門知識を要求される職業人を目指す人。 <p>専修科目と外国語の筆記試験および口頭試問を総合的に評価して選抜します。</p>

総合理工学研究科

理学専攻

理学専攻は自然を解明することを目標とし、ディプロマポリシーとカリキュラムポリシーで示した教育方針に基づいて、数理解析、物理学、機能性分子化学、生物・環境化学の各分野に分かれて先端的な研究活動を行うとともに、各分野にまたがる複合的な研究もおこなわれています。これらの研究に携わる研究者による積極的かつ周到な教育・指導により、先端的な科学研究者、高等教育者、技術者を育成することを目指しています。このために、本専攻は以下のような学生を受け入れることを望みます。

博士前期課程	<ol style="list-style-type: none"> 1. 未知のことに興味を持ち、筋道を立てて解明する意欲を持つ人。 2. 自然科学全般および専門領域における研究のための基礎学力を有する人。 3. 新たに得た知見を広め、役立てる意欲を持ち、努力する人。
博士後期課程	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自然科学における基礎的な概念・原理・法則を理解し、新たな発見に意欲を持つ人。 2. 自然科学に関する研究の専門的課題を自主的に解決し、論文の形（修士論文相当）で表現する能力を修得している人。 3. 博士後期課程で学んだ知識や経験をもとに、将来的に教育・研究分野において社会の発展に貢献する意思を持つ人。

さらに理学専攻に入学するまでに、各分野で行われている先端的な研究を学修するために必要な語学力（日本語および英語による読解力、表現力、コミュニケーション能力）と数学・物理学・化学・生物学に対する基礎的理解力が修得できていることが望まれます。上記に挙げられた人物像を備えた人材を国内外から広く受け入れるために、学内推薦入学選考、学内入学選考、一般入学選考、社会人入学選考、外国人留学生入学試験を実施します。各選考・入学試験では、外国語・専門科目の成績（学力試験成績、学部成績、博士前期課程成績の一部または複数の成績）に加えて口頭試問を課すことによって、博士前期課程志願者あるいは博士後期課程志願者における基礎学力、語学力及び国際的な視野と高い倫理観を持つ高度専門技術者・研究者としての意欲等を測り、総合的な評価によって選抜を行います。

物質系工学専攻

地球温暖化など、現代社会が抱える問題の解決は、明るい次世代社会を築くために必要不可欠です。本専攻では、これらの問題にかかわる化学現象の解明や新物質の創出に関する基礎研究、高等教育、産業応用を担う人材を育成することを目指しています。そのため、選考には、物理化学・無機化学・有機化学等、多分野の教員による口頭試問を取り入れています。本専攻が受け入れを望むのは、以下のような人です。なお、具体的な入学選考については総合理工学研究科の項目を参照してください。

博士前期課程	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自然科学全般において学士としてふさわしい基礎学力を有し、その基礎学力をさらに培う意欲をもつ人 2. 修養した基礎学力をもとに各自の専門領域を深耕する意欲をもつ人 3. 積極性、主体性、倫理観に対する意識を高め、語学力やコミュニケーション能力を磨き、将来は国際的に活躍する技術者・研究者として人類社会の発展に貢献する意志をもつ人
博士後期課程	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自然科学全般において修士としてふさわしい学識をもち、かつ各自の専門分野における課題を解決するための専門知識と実行力をもつ人 2. 各自の専門分野を深耕することに加え、専門以外の分野からも積極的に知見を取り入れることで自らの専門領域の新たな展開をはかり、ひいては新領域を切り拓く意欲をもつ人 3. 博士前期課程で培った積極性、主体性、倫理観、語学力、コミュニケーション能力にさらに磨きをかけ、将来は国際的な技術者・研究者の中においてリーダーシップを発揮し、人類社会の発展のため貢献する意志をもつ人

メカニクス系工学専攻

メカニクス系工学専攻は、近畿大学の建学の理念である「実学教育」に則り、機械工学の専門知識を実社会に応用し幅広く国際社会で活躍でき、さらに次世代社会の高度発展を支える機械工学に関する基盤技術者・開発できる研究者、高度専門技術者の育成を目的としています。したがって、以下のような学生を求めます。

博士前期課程	<ol style="list-style-type: none"> 1. 機械工学の学士の専門知識を修得した人。 2. 与えられた研究テーマに取り組む意欲があり、前期課程修了までの研究計画を立案し、これを文書および口頭で説明できる人。 3. 学士の英語力をもち、産学官の中核的人物としてのグローバルな視点をもちたい人。 <p>以上の人材を見出すために、機械工学関連の基礎ならびに専門知識に関する学力評価、TOEICやTOEFLなども含む英語の学力評価、さらに志望する専修科目に関する口頭試問などを総合的に評価して選抜します。</p>
博士後期課程	<ol style="list-style-type: none"> 1. 機械工学の修士の専門知識と研究能力を修得した人。 2. 自ら問題を発見・解決して発表する意欲があり、学会で口頭発表でき、後期課程修了までの研究計画を立案し、これを文書および口頭で説明できる人。 3. 英語論文を読解でき、産学官の中核の研究者としてのグローバルな視点をもちたい人。 <p>以上の人材を見出すために、専門分野の学識と研究能力に関する口頭試問を含む口頭試問で総合的に評価して選抜します。</p>

エレクトロニクス系工学専攻

エレクトロニクス系工学専攻は、近畿大学建学の精神に則り、エレクトロニクス系工学専攻の教育目的を実現するため、前期課程においては学士、後期課程においては修士のレベルに相当する理工系の素養と英語力を身につけており、豊かな創造力と論理的思考力を備え、高度な専門知識を学ぶ意欲と、研究開発に取り組むことへの強い興味と情熱をもち、計測・情報システム、材料・デバイス、情報処理、原子エネルギーの4分野において、専門技術者、研究者、教育者を目指す学生を求めています。

博士前期課程	<ol style="list-style-type: none"> 1. 当専攻の何れかの分野に強い関心があり、その専門知識を深く学ぶ意欲のある人。 2. 前期課程では学士のレベルに理工系の基礎学力と英語力を身につけている人。 英語力については入学試験にTOEICを導入することにより能力評価の客観性を保っています。 3. 自らの問題を解決するための深い洞察力と論理的な思考力を獲得したい人。 4. 学修を通して得られた知識、知見を高い倫理性をもって社会に還元しようとする人。
博士後期課程	<ol style="list-style-type: none"> 1. 博士前期課程（修士課程）修了レベルの基礎知識と英語力をもち、前期課程より継続して研究を進める好奇心と意欲を有する人。 2. 研究課題を解決するための深い洞察力と論理的な思考力を獲得したい人。 3. 専門領域において深い学識を得て、その知見を社会に知らしめる努力をする人。 4. 研究の社会的意義について正しい認識を持ち、研究者・技術者倫理を遵守できる人。

環境系工学専攻

環境系工学専攻では、各課程において以下のような学生を受け入れます。

博士前期課程	<p>地球環境保全や社会基盤形成に関係する各分野の基礎知識と学問・研究に対する積極的な意欲と実行力に満ち、研究者倫理・技術者倫理を有する入学者を求めます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 環境系工学に関する専門知識を有する人。 2. 環境系工学に関する研究テーマに取り組み意欲があり、専門的課題に対して研究計画を立てられる人。 3. 産学官における技術者・研究者として、活躍したい人。
博士後期課程	<p>地球環境保全や社会基盤形成に関係する各分野の専門知識と先端研究に対する積極的な意欲と実行力に満ち、研究者倫理・技術者倫理を有する入学者を求めます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 環境系工学に関する専門知識と研究能力を有する人。 2. 環境系工学に関する研究テーマに自ら取り組み、問題の発見・解決に意欲があり、研究計画を立てられる人。 3. グローバルな視点を持ち、国内外で環境系工学に関する卓越した研究者を目指す人。

上記に挙げられた人物像を備えた人材を国内外から広く受け入れるため、学内推薦入学選考、学内入学選考、一般入学選考、社会人入学選考、外国人留学生入学試験を実施します。各選抜では、外国語と専門科目の成績に加え、口頭試問を実施し、これらの結果を総合的に評価した入学者選抜を行います。

建築デザイン専攻

建築デザイン専攻では、歴史と伝統を踏まえ、デザインを通じて新たな環境構築を創造できる能力および21世紀となり世界を見据え国際社会において活躍できる能力を身に付けた高度な専門的職業人の養成を目指しています。地球環境保全や社会基盤形成に関する諸分野の専門知識をいかし、探求していくための十分な基礎学力を備えており、自ら課題を設定し、積極的に研究をおこなう意欲をもった人の入学を期待します。

修士課程	<p>建築デザイン分野に関する高度な専門性を身に付け、その分野の職業人として力を発揮できる能力を有する入学者を求めます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 建築に関する基礎的な学力を有しており、計画的に研究を遂行できる人。 2. 領域横断的な知性と教養を身に付け、総合的な思考力と判断力をもって国際社会また地域社会に貢献する意欲を持った人。 3. 建築デザイン分野における能力を活かして、新たな都市、建築を構想する力を発揮できる人。 <p>上記に挙げられた人物像を備えた人材を国内外から広く受け入れるため、学内推薦入学選考、学内入学選考、一般入学選考、社会人入学選考、外国人留学生入学試験を実施します。各選抜では、外国語と専門科目の成績に加え、口頭試問を実施し、これらの結果を総合的に評価した入学者選抜を行います。</p>
-------------	---

東大阪モノづくり専攻

最先端の理論と実務との架け橋の役割を果たそうとする意欲を持ち、理工系全般の素養を身につけ、創意工夫の精神をもち、モノづくり産業の発展に深い関心をもつ意思の高い人材の育成を目指しています。学則の理念に基づき、企業での研究開発と大学院での高度な教育を行うことにより、多様な価値観を身につけ、幅広い知識と総合力を備えた「新しい価値を創造できる研究者・技術者の養成」を目的としています。
本専攻が受け入れを望むのは以下のような学生です。

博士前期課程	<ol style="list-style-type: none"> 1. 未知のことに興味を持ち、筋道を立てて解明する意欲を持つ人。 2. 自然科学全般および専門領域における技術者としての基礎学力を有する人。 3. 新たに得た知見を広め役立て、意欲をもち努力する人。
博士後期課程	<ol style="list-style-type: none"> 1. 未知のことに興味を持ち、筋道を立てて解明し、それを工学的応用に発展させる意欲を持つ人。 2. 自然科学全般および専門領域における研究者としての応用学力を有する人。 3. 新たに得た知見を広め役立て、グローバルに展開する意欲をもち努力する人。

本専攻の入学試験では博士前期課程および後期課程ともに、上記の人材を多面的な評価尺度で選抜するために、1. に対しては、一次試験として、定められたテーマに対する小論文を課す、2. に対しては、二次試験として、限られた道具と材料を用いて、テーマに沿ったモノを作製し、プレゼンテーションを課す、3. については、二次試験として、口頭試問を課す、という二段階選抜によって受け入れ、一次試験および二次試験の結果を統合した入学者選抜を実施します。

薬学研究科

薬科学専攻

博士前期課程	<p>近畿大学建学の精神である「実学教育」と「人格の陶冶」に即して、生命科学の進歩に貢献し、国際的に活躍できる人材の育成、および人類社会の福祉と持続的発展に貢献するために、薬科学専攻博士前期課程では、創薬科学および生命薬学分野において多岐に亘る専門的能力を有し、グローバルな視点と豊かな創造力だけでなく健全な倫理観を持って活躍できる人材を育成します。幅広い創薬関連分野で、医薬品の創製・開発や安全性の向上、あるいは薬学的観点から生命科学の進歩に貢献する人材を育成するために、次のような学生を求めています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 薬学および生命薬学に関する確かな基礎学力を有し、自ら課題を発見し探求する意欲のある人。 2. 薬学および生命薬学領域において、研究活動を遂行するためのコミュニケーション能力を持っていること。 3. 薬学および生命薬学に関する情報収集を行い、論理的思考により問題解決することに意欲を持つ人。 4. 将来、薬学・生命科学研究者として国際社会に貢献する意欲と倫理観を備えた人。 <p>上記のポリシーを実現するため、入学選考においては、薬学研究科入学選考における評価基準をもとに、志願者の様々な能力や倫理観について、外国語（英語）能力に関する筆記試験、専門分野の学識に関する学力試験、小論文、口頭試問などを実施し、これらの結果を総合的に評価します。</p>
---------------	---

博士後期課程

近畿大学建学の精神である「実学教育」と「人格の陶冶」に即して、生命科学の進歩に貢献し、国際的に活躍できる人材の育成、および人類社会の福祉と持続的発展に貢献するために、薬科学専攻博士後期課程では、創薬科学および生命薬学分野において多岐に亘る高度な専門的能力を有し、グローバルな視点と豊かな創造力だけでなく高い倫理観を持って活躍できる人材を育成します。創薬科学および生命薬学分野の研究を通じ、生命科学の進歩に貢献しうる人材を育成するために、次のような学生を求めています。

1. 薬学および生命薬学に関する幅広い知識と技能を有し、主体的に学ぶ態度を身につけ、自ら課題を発見し探求する意欲のある人。
2. 薬学および生命薬学領域において、研究活動を遂行するためのコミュニケーション能力とプレゼンテーション能力を持っていること。
3. 薬学および生命薬学に関する情報収集を行い、高い創造性を備え、論理的思考により問題解決することに意欲を持つ人。
4. 将来、薬学・生命科学研究を牽引し、国際社会に貢献する意欲と倫理観を備えた人。

上記のポリシーを実現するため、入学選考においては、薬学研究科入学選考における評価基準をもとに、志願者の様々な能力や倫理観について、外国語（英語）能力に関する筆記試験、専門分野の学識に関する学力試験、小論文、口頭試問、プレゼンテーションなどを実施し、これらの結果を総合的に評価します。

薬学専攻

近畿大学建学の精神である「実学教育」と「人格の陶冶」に即して、高度医療の実践と、科学の進歩に貢献できる人材を育成し、人類社会の福祉と持続的発展に貢献するために、薬学専攻では薬剤師として医療に従事するだけでなく、研究者の観点から医療における諸問題を解決し、より高度な医療の実現に貢献できる人材を育成します。また、薬剤師としての視点をもって、新しい医薬品の研究や臨床開発、行政等幅広い分野で活躍する人を輩出していくことも念頭に置いています。具体的には医療薬学に関連する研究を通じ、研究者又は専門薬剤師の観点をもって臨床薬学の領域で活躍できる高度医療人および医療薬学における知識と経験を生命科学の進歩に応用できる人材の育成を目的としています。したがって、以下のような学生を求めています。

1. 医療薬学に関する幅広い知識と技能を有し、主体的に学ぶ態度を身につけ、自ら課題を発見し探求する意欲のある人。
2. 医療薬学領域において、研究活動を遂行するためのコミュニケーション能力とプレゼンテーション能力を持っていること。
3. 医療薬学に関する情報収集を行い、論理的思考により問題解決することに意欲を持つ人。
4. 将来、臨床薬学研究や生命薬学研究を通じ、幅広い分野でリーダーとして国際的に活躍する意欲と倫理観を備えた人。

上記のポリシーを実現するため、入学選考においては、薬学研究科入学選考における評価基準をもとに、志願者の様々な能力や倫理観について、外国語（英語）能力に関する筆記試験、専門分野の学識に関する学力試験、小論文、口頭試問、プレゼンテーションなどを実施し、これらの結果を総合的に評価します。

総合文化研究科**日本文学専攻**

総合文化研究科日本文学専攻は、近畿大学の建学の精神である実学教育と人格の陶冶に則り、専門的な知識によって自ら新しい価値を生み出すことのできる柔軟な思考力と豊かな創造力を持った人材を育成するため、以下のような意欲と能力を持つ人を入学者として受け入れます。

1. 日本文学・日本語学・創作・批評などの学問分野の知識や技能の修得に加えて、それを活用して教育・文化に関わる仕事に携わりたいという意欲と能力を持つ人。
2. 日本文学・日本語学の学問分野に興味を持ち、その研究を通して文学や言語について考察し、かつ研究者としての基礎を身につけたいという意欲と能力を持つ人。
3. 創作・批評の分野に興味を持ち、それについて学ぶことを通じて、現代社会が直面する諸問題に対する問題意識を獲得したいという意欲と能力を持つ人。

上記のポリシーを実現するため、日本文学専攻では出願資格を明確に定め、年間2回の入学試験を実施します。入学試験では、外国語の筆記試験、専門分野に関する筆記試験と口頭試問を行い（出願資格により異なる）、研究計画書の審査を加えて入学者選抜を行います。

英語英米文学専攻

総合文化研究科英語英米文学専攻は、近畿大学の建学の精神である実学教育と人格の陶冶に則り、ジャンルを超えた広い視野をもって、英語という言語の性質を探究し、英語圏文学作品の研究を目指す人を国内外から広く受け入れ、専門性と関連領域の学識を高めていきます。このような方針に基づき、以下のような学生を求めます。

1. 言語としての英語や英語圏の文学作品に強い関心があり、高度な英語力を持つ人。
2. 英語圏の文学作品について文学理論を援用して研究したい人。また、関連領域としての英語教育・応用言語学について学識を高めたい人。
3. 研究者、教員、及び、高度な言語の知識や文学の理論を駆使した職業に就くことを目指す人。

上記のポリシーを実現するため、英語英米文学専攻では志願者による研究計画書の審査や語学・専門分野に関する試験などに加え、口頭試問を実施し、これらの結果を総合して合否判定を行います。

文化・社会学専攻

総合文化研究科文化・社会学専攻は、近畿大学の建学の精神である実学教育と人格の陶冶に則り、複雑化する現代社会を理論と実践からの確に理解し、あるいは歴史の解明を通じて、現代社会の課題に取り組む人材を育成するため、以下のような意欲と能力を持つ志願者を受け入れます。

1. 歴史、現代文化、社会、都市などの専門分野に興味を持ち、その研究を通して様々な人間の営みを根源的に考察し、多角的に理解しようとする人。
2. 専門分野に関する知識や技能の修得に加えて、諸科学を横断する柔軟で幅広い教養と豊かな創造力を身につける意志を強く持ち、そのために必要な基礎学力を有する人。
3. 分化された職能にとどまらず、総合的な思考力、判断力をもって文化や知識の発信を行い、国際社会や地域社会で指導的役割を果たそうとする意欲を持つ人。

上記のポリシーを実現するため、志願者による研究計画書の審査や語学・専門分野に関する試験などに加え、口頭試問を実施し、これらの結果を統合して合否判定を行います。

心理学専攻

総合文化研究科心理学専攻は、近畿大学の建学の精神である実学教育と人格の陶冶に則り、科学的な態度と確かな学識、論理的正当性に裏打ちされた、研究活動を行うだけでなく、人々のウェルビーイングおよび人間の生の基盤である社会の改善・発展にとって必要な解決すべき問題を拾い上げ、その解決に貢献する人材の育成を目的としています。したがって、以下のような意欲と能力を持つ志願者を受け入れます。

1. 心理、臨床心理などの専門分野に興味を持ち、その研究を通して様々な人間の営みを根源的に考察し、多角的に理解しようとする人。
2. 専門分野に関する知識や技能の修得に加えて、諸科学を横断する柔軟で幅広い教養と豊かな創造力を身につける意志を強く持ち、そのために必要な基礎学力を有する人。
3. 分化された職能にとどまらず、総合的な思考力、判断力をもって文化や知識の発信を行い、国際社会や地域社会で指導的役割を果たそうとする意欲を持つ人。

上記のポリシーを達成するために、出願資格を明確に定め、年間2回の入学試験を実施します。入学試験では、外国語（英語）能力に関する筆記試験と、専門分野の基本的知識および論理性や分析力を評価する筆記試験、そして心理学的関心、科学的思考力、研究活動や臨床活動に対する意欲等を評価するために、志願者による研究計画書の審査や口頭試問を実施し、これらを総合的に評価し、入学者を選抜します。

農学研究科

農業生産科学専攻

農業生産科学専攻では、本学の建学精神である「実学教育」と「人格の陶冶」をふまえ、農学に係る自然科学から社会科学までの幅広い知識と技術を修得し、身につけた高度な能力を実社会が抱える様々な問題の解決に実践、応用できる人材の育成を目指しています。また、農業生産の現場における諸課題を解決する能力を有し、環境と健康に配慮した作物の生産と流通に関連する各分野で活躍できる創造性豊かな人材の育成を目指しています。これを実現するために、以下に挙げるような人物像を備えた入学者を国内外から広く受け入れることを目的とし、学内推薦入学選考、学内入学選考、一般入学選考、社会人入学選考、外国人留学生入学試験を実施いたします。博士前期課程の選考・入学試験は、志願者の基礎学力やコミュニケーション能力について、学力試験（英語と専門科目）および口頭試問により行います。博士後期課程の選考・入学試験は、口頭試問により行います。口頭試問に関しては、以下に挙げる4つの項目をもつ人材をルーブリック（取り組み姿勢、目的・背景の理解、研究遂行力、卒業研究結果に対する解釈力・考察力、卒業研究および修士論文発表のプレゼンテーション能力）で総合的に評価しています。

博士前期課程

1. 農業生産科学専攻博士前期課程の教育を理解し修得するのに必要な学力と学修・研究意欲を有する人。
2. 農学研究を行う上で不可欠となる英語科学論文の読解力と理解力を有する人。
3. 本専攻分野の学問的発展と社会的貢献を果たすため、幅広い専門知識、応用力、実践力の修得を目指す人。
4. 本専攻分野の教育・研究成果を国際的に発信するためのコミュニケーション能力を高め、役立てる能力と意欲のある人。

博士後期課程

1. 農業生産科学専攻の教育を理解し、技術者、研究者、指導者として自立するために必要な知識と技術を学修し研究する意欲を有する人。
2. 農学研究を行う上で不可欠となる英語科学論文の読解力と理解力に加えて、母国語のみならず英語でのコミュニケーション能力を学修する意欲のある人。
3. 本専攻分野の学問的発展と国内外における社会的貢献を果たすため、幅広い専門知識、応用力、実践力の修得を目指す人。
4. 本専攻分野の教育・研究成果を国際的に発信し、国内外で役立てる能力と意欲のある人。

水産学専攻

水産学専攻では、自然と調和した水産業の発展のため、水域の食料生産や環境保全などの幅広い分野で世界の水産業を牽引できる人材の育成を目指しています。具体的には、以下に挙げるような人物像を備えた入学者を国内外から広く受け入れるため、学内推薦入学選考、学内入学選考、一般入学選考、社会人入学選考、外国人留学生入学試験を実施いたします。博士前期課程への各選考・入学試験では、英語と専門科目の学力試験および口頭試問を行い、各試験が個別に評価されます。また、博士後期課程への入学には口頭試問を行い、研究への取り組み姿勢、目的・背景の理解、遂行能力や修士論文の内容等について総合的に評価しています。

博士前期課程

1. 水産科学に関する基礎的知見を有し、現在の水産業が抱える問題点に取り組む意志を有する人。
2. 水産学研究を行う上で不可欠となる英語科学論文の読解力と理解力を有する人。
3. 自然環境との共生を理解し、魚介類の生産から加工までの水産業全体を掌握する広い知識、応用力、実践力の修得を目指す人。
4. グローバル化した産業と研究のニーズに対応するため、コミュニケーション能力と国際的発信力の強化に意欲を有する人。

博士後期課程

1. 水産科学に関する基礎的知見を有し、現在の水産業が抱える問題点に対して技術者、研究者、指導者としての視点で解決方法を学修・研究する意志を有する人。
2. 水産学研究を行う上で不可欠となる英語科学論文の高度な読解力と理解力とともに、情報を効果的に利用できる能力の修得を目指す人。
3. 魚介類の生産から加工までの水産業全体を掌握する幅広い知識、自然環境との共生の理解、柔軟かつ独創的な応用力、実践力について各分野の専門家としての修得を目指す人。
4. グローバル化した産業と研究のニーズに対応するため、本専攻分野の教育・研究成果を国際的に英語で発信し、国内外で役立てるコミュニケーション能力の修得意欲を有する人。

応用生命化学専攻

応用生命化学専攻では、生命現象を化学的視点から理解することによって生命の特性を活用し、人類が直面する課題の解決に挑む人材の育成を目指して、以下の能力を有する入学者を国内外から広く受け入れます。入学選考では、学内推薦入学選考、学内入学選考、一般入学選考、社会人入学選考、外国人留学生入学試験を実施します。各選考・入学試験においては、志願者の基礎学力やコミュニケーション能力について、学力試験（英語と専門科目）、口頭試問などを適宜実施し、総合的に評価します。また、口頭試問に関しては、以下に挙げる3つの項目をもつ人材をルーブリック（専攻分野に関連した研究の理解（前・後期課程）、コミュニケーション能力（前・後期課程）、論理的思考力（後期課程）、研究意欲（前・後期課程））で総合的に評価します。

博士前期課程

1. 本専攻の教育と研究理念を理解し、修得するのに必要な基礎学力・語学力を有し、生命、資源、食料、環境に関する最先端の研究を生物と化学の融合領域で行い、応用に結びつける意欲を有する人。
2. 主体的に行動し、情報収集能力があり、問題解決に向けてチャレンジ精神のある人。
3. 教育・研究成果を社会に役立てるため、国際的に発信する意欲を有する人。

博士後期課程

1. 本専攻の教育と研究理念を理解し、修得するのに必要な学力・語学力を有し、生命、資源、食料、環境に関する最先端の研究を生物と化学の融合領域で行い、応用に結びつける意欲を有する人。
2. 論理的思考力および記述能力、口頭発表能力を有し、主体的に行動し、情報収集能力があり、問題解決に向けてチャレンジ精神のある人。
3. 学修・研究成果を社会に役立てるため、国際的に発信し相互理解を深め、当該研究分野で世界をリードする意欲を有する人。

環境管理学専攻

環境管理学専攻では、本学の建学精神である実学教育と人格の陶冶をふまえ、持続可能な農林水産業の展開と生物多様性の保全に必要な知識と技術を修得し、育まれた高度な能力をもって、人類が直面する環境問題の解決に貢献できる人材を育成します。以下に挙げたような人物像を備えた入学者を国内外から広く受け入れるため、学内推薦入学選考、学内入学選考、一般入学選考、社会人入学選考、外国人留学生入学試験を実施します。各選考・入学試験では口頭試問を行い、ルーブリックにより評価されます。

博士前期課程

1. 環境管理学専攻の教育・研究分野と理念・目標を理解し、環境管理学を修得するのに必要な基礎学力と研究意欲を有する人。
2. 人類と自然の共生をめざし、開発と保護の調和をはかるための問題解決能力の修得をめざす人。
3. 研究成果を社会に発信できる語学力やコミュニケーション能力を修得する意欲を有する人。

博士後期課程

1. 環境管理学専攻の教育・研究分野と理念・目標を理解し、環境管理学を修得するのに必要な学力と、地球規模の環境問題の解決をめざす高い研究意欲を有する人。
2. 人類と自然の共生をめざし、開発と保護の調和をはかるための専門知識、研究能力、思考力、問題解決能力の修得をめざす人。
3. 研究成果を世界に発信できる語学力やコミュニケーション能力を修得し、国際的に活躍する意欲を有する人。

バイオサイエンス専攻

バイオサイエンス専攻は、本学の建学精神である「実学教育」と「人格の陶冶」をふまえ、生物の多様な機能に着目した研究を通して、その原理を理解し、得られた成果を社会にフィードバックできる柔軟な思考力と創造力を持ち、人類が抱える食料・医療・創薬、エネルギーの諸問題を解決できる人材を育成します。これを実現するために、以下に挙げるような人物像を備えた入学者を国内外から広く受け入れることを目的とし、学内推薦入学選考、学内入学選考、一般入学選考、社会人入学選考、外国人留学生入学試験を実施いたします。

博士前期課程の各選考・入学試験においては、志願者の基礎学力やコミュニケーション能力について、学力試験（英語と専門科目）、口頭試問などにより総合的に評価します。また、口頭試問に関しては、以下の項目についてルーブリック（大学院における学修に対する意欲、研究目的・背景の理解、卒業研究結果の理解、専門知識）で総合的に評価しています。

博士後期課程の各選考・入学試験においては、研究に関するプレゼンテーションと口頭試問などにより評価します。また、口頭試問に関しては、以下の項目についてルーブリック（研究の意義の理解、専門知識と課題設定能力、研究遂行能力、プレゼンテーション能力）で総合的に評価しています。

博士前期課程	<ol style="list-style-type: none"> 1. 本専攻博士前期課程の教育・研究を理解、修得するのに必要な動物学、植物学、微生物学、化学に関する知識と語学力を持ち、高い研究意欲を有する人。 2. 独創的なフロンティア精神と探究心を兼ね備えた人。 3. 幅広い視野を持ち、国際的に研究活動を行う意欲と能力を有する人。
博士後期課程	<ol style="list-style-type: none"> 1. 本専攻博士後期課程の教育・研究を理解、修得するのに必要な動物学、植物学、微生物学、化学に関する、より高度で専門的な知識と高い語学力を持ち、問題解決に必要な課題設定能力と高い意識をもって研究を遂行できる人。 2. 研究の学術的・実用的意義を理解し、さらに独創的なフロンティア精神と探究心を兼ね備えた人。 3. 幅広い視野を持ち、研究成果を国際的に発信するためのコミュニケーション能力、主体的に研究活動を行う意欲と能力を有する人。

医学研究科

医学系専攻

医学研究科は、近畿大学の建学の精神である実学教育と人格の陶冶に則り、確かな学識と倫理的正当性に裏付けされた研究活動を自立して行うだけでなく、自らの医療実践の中に課題を求め、その解決によって医療をさらに発展させる高度医療人の育成を目的としています。したがって、以下のような学生を求めます。

1. 医学医療分野の基本的な学識を有する人。
2. 新鮮で独創的な着想を持つ人。
3. 自ら課題を設定し、積極的に研究に取り組む意欲のある人。
4. 最先端の知識と技術を常に探究する人。
5. 自らの医療実践の中に課題を求め、それを自ら解決したいと考える人。
6. 研究によって、高度医療だけでなく、日常的な医療をも発展させたいと考える人。
7. 国際的な視野に立つ卓越した研究者を目指す人。

上記のポリシーを実現するため、医学研究科では出願資格を明確に定め、年間2回の入学試験を実施します。入学試験では外国語（英語）能力に関する筆記試験と、専門分野の学識に関する口頭試問を実施し、これらの結果を総合した入学者選抜を行います。

生物理工学研究科

生物工学専攻

近畿大学建学の精神である「実学教育」と「人格の陶冶」に即して、人類社会の福祉と持続的発展に貢献することのできる人材を育成するために、生物工学専攻は、生物学と工学の学際領域でのバイオテクノロジーを推進します。この理念のもと、動植物・微生物の分子生命工学、生殖再生や生体機能分子工学、生命環境及び食の機能・食の安全工学の分野の高度専門技術者・研究者を志向する次のような人を求めます。なお、入学選考における評価は、別表に定めた生物理工学研究科入学選考における評価基準をもとに行います。外国人留学生入学試験では、日本学生支援機構実施の「日本留学試験（日本語）の成績」の結果も加味します。英語に堪能と判定できる者については、日本留学試験「日本語」を免除し、口頭試問も英語で受験できます。

本専攻では、以下にあげるような人物像を備えた人の入学を受け入れます。

博士前期課程	<ol style="list-style-type: none"> 1. 生命現象と科学技術への広い関心・理解を持ち、上記分野の課題解決に意欲を持つ人。 2. グローバル社会に対応した英語力と学部で学んだ専門的知識・技術を併せ持つ人。 3. 国際的な視野と倫理観を持ち、高度な専門力の修得により人類社会への貢献を目指す人。 <p>このような人物を受け入れるために、学内推薦入学選考、学内入学選考、一般入学選考、社会人入学選考、外国人留学生入学試験を実施します。各選考・入学試験では、外国語・専門科目の成績（学力試験成績・学部成績）に加えて口頭試問を課すことによって、基礎学力、語学力及び国際的な視野と高い倫理観を持つ高度専門技術者・研究者として社会に貢献する意欲等を測り、総合的な評価によって選抜を行います。</p>
博士後期課程	<ol style="list-style-type: none"> 1. 生命現象と科学技術への広い関心・理解を持ち、上記分野の課題解決に高い意欲を持つ人。 2. グローバル社会で活躍するための高度な英語力に加えて、広い視野と高度の専門的知識・技術を併せ持つ人。 3. 国際的な視野と高い倫理観を持ち、自然と人間の営みについての複眼的な思考を通して人類社会への貢献を目指す人。 <p>このような人物を受け入れるために、一般入学選考、社会人入学選考、外国人留学生入学試験を実施します。各選考・入学試験では、外国語と口頭試問を課すことによって、博士前期課程において修得した語学力と専門的知識・技術、国際的な視野と高い倫理観を持つ高度専門技術者・研究者として社会に貢献する意欲等を測り、総合的な評価によって選抜を行います。</p>

生体システム工学専攻

生体システム工学専攻では、機械、電気電子、情報通信を主柱とする工学分野と医療・福祉工学、健康科学、生活科学を主柱とするライフサイエンス分野を融合させた生体システム工学に関連する学際教育研究を実現するカリキュラムポリシーを編成しており、これを通じて本専攻のディプロマポリシーに示す資質・能力を習得した技術者、研究者の育成を目指します。

博士前期課程	<p>高齢社会に対応したQOLの向上に貢献できる高度専門的職業人（技術者）の育成を目指しており、以下にあげるような人物像を備えた人の入学を受け入れます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 生体システム工学の研究を行うに足る学士課程における基礎学力及び知識を持った上で、学修・研究に対する意欲や語学を含めたコミュニケーション能力を有する人。 2. 生体システム工学に関する幅広い知識と専門領域における探究心を有し、高度工学技術の修得及び研究を通して科学技術の発展に貢献したい人。 3. 高い倫理観を持つ工学技術者の観点から生体システム工学分野における諸問題を解決し、同観点から持続可能社会の構築に貢献しようとする人。 4. 国際的な視野を持ち、国際社会の一員として社会貢献を目指す人。
---------------	--

博士前期課程 (前ページ続き)	<p>以上にあげよう人物を受け入れるために、学内推薦入学選考、学内入学選考、一般入学選考、社会人入学選考、外国人留学生入学試験を実施します。各選考・入学試験では、外国語・専門科目の成績(学力試験成績、学部成績の一部または複数の成績)に加えて口頭試問を課すことによって、学士課程における基礎学力、語学力及び国際的な視野と高い倫理観を持つ高度専門技術者として社会に貢献する意欲等を測り、総合的な評価によって選抜を行います。外国人留学生入学試験では、日本学生支援機構実施の「日本留学試験(日本語)の成績」の結果も加味します。なお、入学選考における評価は、別表に定めた生物理工学研究科入学選考における評価基準のもとに行います。</p>
博士後期課程	<p>より高度な専門知識と豊かな学識に裏付けされた新奇の知見や技術の創出によって循環型知識基盤社会の発展に貢献できる研究者の育成を目指しており、以下にあげよう人物像を備えた人の入学を受け入れます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 生体システム工学の研究を行うに足る博士前期課程における基礎学力及び知識を持った上で、学修・研究に対する意欲や語学を含めたコミュニケーション能力を有する人。 2. 生体システム工学に関する幅広い知識と専門領域における探究心を有し、高度工学技術の修得及び研究を通して科学技術の発展に貢献したい人。 3. 高い倫理観を持つ工学研究者の観点から生体システム工学分野における諸問題を解決し、同観点から持続可能社会の構築に貢献しようとする人。 4. 国際的な視野を持ち、国際社会の一員として社会貢献を目指す人。 <p>以上にあげよう人物を受け入れるために、一般入学選考、社会人入学選考、外国人留学生入学試験を実施します。各選考・入学試験では、外国語・専門科目の成績(学力試験成績、博士前期課程成績の一部または複数の成績)に加えて口頭試問を課すことによって、博士前期課程における基礎学力、語学力及び国際的な視野と高い倫理観を持つ研究者として社会に貢献する意欲等を測り、総合的な評価によって選抜を行います。外国人留学生入学試験では、日本学生支援機構実施の「日本留学試験(日本語)の成績」の結果も加味します。なお、入学選考における評価は、別表に定めた生物理工学研究科入学選考における評価基準のもとに行います。</p>

システム工学研究科

システム工学専攻

システム工学研究科では、高度な専門知識とともに広い視野に立った工学の方法と、国際性や倫理観などを修めるための教育プログラムを提供し、ディプロマポリシーで掲げた研究者や高度専門職業人としての技術者の育成を目指しています。この育成を実現するため、次のような入学者を受け入れます。

1. 幅広い教養と実学としての工学分野の能力を発展・深化させたいと望む意欲のある人。
2. 人間と自然が共存できる社会の構築に寄与することを熱望して、高度の技術者・研究者を目指す人。
3. 複雑化する工学的課題に果敢にチャレンジし、探求能力を高めて、グローバルにしかもリーダーとして活躍したい人。

(入学選抜の基本方針)

システム工学研究科では上記に示す方針に基づき、多様な入試制度を設けています。

博士前期課程	<ol style="list-style-type: none"> 1. 学内推薦入学選考では、学士課程で専攻分野の基礎知識や技能を一定以上の優れた水準で修得し、高度な研究能力と社会の要請に対応できる応用力とを修得する意欲に溢れた人を選抜します。本学独自の口頭試問を行い、この結果と学部成績を総合的に評価して入学選抜を実施します。 2. 学内入学選考では、学士課程で専攻分野の基礎知識や技能を一定以上の水準で修得し、高度な研究能力と社会の要請に対応できる応用力とを修得する意欲に溢れた人を選抜します。本学独自の学力試験及び口頭試問を行い、これらの結果と学部成績を総合的に評価して入学選抜を実施します。 3. 一般入学選考では、学士課程における専門知識を十分身につけ、高度な研究能力と社会の要請に対応できる応用力とを修得する意欲に溢れた人を選抜します。本学独自の学力試験及び口頭試問を行い、これらの結果を総合的に評価して入学選抜を実施します。 4. 社会人入学選考では、在職経験によって培った知識及び技術をさらに深化させ、高度な研究能力と社会の要請に対応できる総合的な応用力とを修得する意欲に溢れた人を選抜します。本学独自の口頭試問を行い、この結果と出願時の提出書類を総合的に評価して入学選抜を実施します。 5. 外国人留学生入試では、学士課程修了者と同等な専門知識を有し、当研究科に必要な最低限のコミュニケーション能力をもち、高度な研究能力と社会の要請に対応できる応用力とを修得する意欲に溢れた人を選抜します。語学の学力評価に関する外部資格検定試験の活用と外国語、専門科目の記述試験、口頭試問及び書類審査を行い、これらの結果を総合的に評価して入学選抜を実施します。
博士後期課程	<ol style="list-style-type: none"> 1. 一般入学選考では、博士前期課程における専門知識と研究能力を十分身につけ、先端科学技術を主体的に修得する意欲と、新しい研究分野を開拓する意欲、高度な専門的業務に必要な学修に取り組む意欲に溢れた人を選抜します。本学独自の学力試験及び口頭試問を行い、これらの結果を総合的に評価して入学選抜を実施します。 2. 社会人入学選考では、在職経験を有する者で、博士前期課程における最低限の専門知識と研究能力を十分身につけており、先端科学技術を主体的に修得する意欲と、新しい研究分野を開拓する意欲、高度な専門的業務に必要な学修に取り組む意欲に溢れた人を選抜します。本学独自の口頭試問を行い、この結果と出願時の提出書類を総合的に評価して入学選抜を実施します。 3. 外国人留学生入試では、博士前期課程修了者と同等な専門知識と研究能力を有し、当研究科に必要な最低限のコミュニケーション能力をもち、先端科学技術を主体的に修得する意欲と、新しい研究分野を開拓する意欲、高度な専門的業務に必要な学修に取り組む意欲に溢れた人を選抜します。語学の学力評価に関する外部資格検定試験の活用と外国語の記述試験、口頭試問及び書類審査を行い、これらの結果を総合的に評価して入学選抜を実施します。

産業理工学研究科

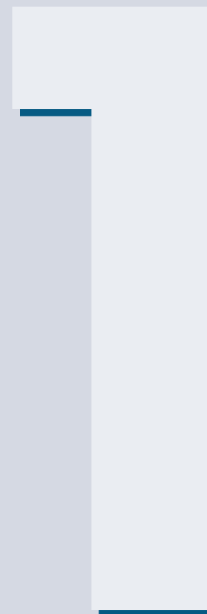
産業理工学専攻

産業理工学研究科は、近畿大学の建学の精神と教育の目的に即して、ハードサイエンスとソフトサイエンスの融合のもと、社会に信頼され地球環境に調和する産業科学技術の展開を図り、持続可能な循環型知識基盤社会の発展に貢献できる人材の育成を目指しています。本研究科では、この教育理念に共感し、ディプロマポリシーに示した人材になることを希望する次のような入学者を受け入れます。

博士前期課程	<ol style="list-style-type: none"> 1. 専門分野の知識と技術を修得するための基礎的な学力とコミュニケーション能力を有する人。 2. 専門及び関連分野の知識や技術を修得し、専門家として自立する意欲のある人。 3. 自ら学ぶ意欲をもち、多角的な視点から新たな知見や技術を創出する情熱のある人。
博士後期課程	<ol style="list-style-type: none"> 1. 専門分野の高度な知識と技術を修得するための専門性と研究能力を有する人。 2. 専門及び関連分野の知識や技術を幅広く深化して、専門領域を極める意欲のある人。 3. 自ら行動し、失敗を恐れずチャレンジして、既成概念にとらわれることなく多角的な視点から新しい価値を創り出す意欲のある人。

本研究科では、このような人を受け入れるために、学内推薦入学選考・学内入学選考(博士前期課程のみ)、一般入学選考、社会人入学選考、外国人留学生入学試験を実施します。学内推薦入学、社会人入学選考では専修科目に関する口頭試問試験により合否判定を、その他の選考・入学試験では、筆記試験と専修科目に関する口頭試問試験を行い両方の結果を統合して合否判定を行います。口頭試問においては、アドミッションポリシーの各項目に記載された能力、意欲、情熱を評価するための基準をルーブリック評価に定め、これに沿って公平で客観的な評価を行います。

大学院研究科のアドミッションポリシー(入学受け入れの方針)は変更される場合があります。最新はホームページ(<https://www.kindai.ac.jp/graduate/departments/>)をご確認ください。



大学院入学試験 概要

- ① 入学選考実施一覧 10
- ② 募集研究科・専攻 募集人員 11
- ③ 入学選考日程表 13

1-1 令和6年度大学院入学試験 入学選考実施一覧

課程	研究科	学内選考		一般選考			社会人選考		
		9月	2月	9月	2月		9月	2月	
修士・博士前期	法学研究科	○	○	○	○		○	○	
	商学研究科	○	－	○	○		○	○	
	経済学研究科	○	－	○	○		○	○	
	総合理工学研究科	○	－	○	○		○	○	
	総合理工学研究科 (建築デザイン専攻)	○	－	○	○		－	－	
	総合理工学研究科 (東大阪モノづくり専攻)	－	－	○	○		－	－	
	薬学研究科 (薬科学専攻)	○	－	○	○		○	○	
	総合文化研究科	○	－	○	○		○	○	
	農学研究科	○	○	○	○		○	○	
	生物理工学研究科	○	－	○	○		○	○	
	システム工学研究科	○	－	○	○		○	○	
	産業理工学研究科	○	－	○	○		○	○	
課程	研究科	学内選考		一般選考			社会人選考		
		9月	2月	9月	1月	2月	9月	1月	2月
博士・博士後期	法学研究科	－	－	－	－	○	－	－	○
	商学研究科	－	－	○	－	○	○	－	○
	経済学研究科	－	－	－	－	○	－	－	－
	総合理工学研究科	－	－	○	－	○	○	－	○
	総合理工学研究科 (東大阪モノづくり専攻)	－	－	○	－	○	－	－	－
	薬学研究科 (薬科学専攻)	○	－	○	－	○	○	－	○
	薬学研究科 (薬学専攻)	○	－	○	○	－	○	○	－
	農学研究科	－	－	○	－	○	○	－	○
	医学研究科	－	－	－	○	○	－	○	○
	生物理工学研究科	－	－	○	－	○	○	－	○
	システム工学研究科	－	－	○	－	○	○	－	○
	産業理工学研究科	－	－	○	－	○	○	－	○

1-2 令和6年度大学院入学試験 募集研究科・専攻 募集人員

【修士課程・博士前期課程】

単位(人)

研究科	専攻(コース)	募集人員 ^{※1}	
		9月	2月 ^{※5}
法学研究科	法律学専攻	8	若干名
商学研究科	商学専攻	11	若干名
経済学研究科 ^{※3}	経済学専攻(昼間主コース・夜間主コース)	5	若干名
総合理工学研究科 ^{※4}	理学専攻	30	若干名
	物質系工学専攻	40	若干名
	メカニクス系工学専攻	25	若干名
	エレクトロニクス系工学専攻	30	若干名
	環境系工学専攻	15	若干名
	建築デザイン専攻(修士課程)	10	若干名
	東大阪モノづくり専攻	10	若干名
薬学研究科	薬科学専攻(生命薬科学コース・創薬科学コース)	15	若干名
総合文化研究科(修士課程)	日本文学専攻	4	若干名
	英語英米文学専攻	3	若干名
	文化・社会学専攻(歴史学コース・現代文化学コース 社会学コース・都市学コース)	8	若干名
	心理学専攻 ^{※2} (心理学コース・臨床心理学コース)	6	若干名
農学研究科	農業生産科学専攻	10	若干名
	水産学専攻	10	若干名
	応用生命化学専攻	14	若干名
	環境管理学専攻	10	若干名
	バイオサイエンス専攻	12	若干名
生物理工学研究科	生物工学専攻	16	若干名
	生体システム工学専攻	18	若干名
システム工学研究科	システム工学専攻(生物化学コース・機械工学コース・ロボティクスコース 電子情報工学コース・情報コース・建築コース)	41	若干名
産業理工学研究科	産業理工学専攻(生物環境化学コース・電子情報工学コース 社会環境科学コース)	30	若干名
実学社会起業イノベーション学位プログラム ^{※6}		30	

※1 募集人員は、学内選考・一般入学選考・社会人入学選考・外国人留学生入学選考の入学者を含みます。

※2 心理学専攻の募集人員は、臨床心理学コースの募集人員4人を含みます。

※3 経済学研究科(2月期)の財政学特論、地方財政学特論は定員の関係で募集しない可能性があります。詳しくは、経済学部学生センター大学院入試係にお問い合わせください。

※4 総合理工学研究科(理学専攻遺伝カウンセラー養成課程、東大阪モノづくり専攻)は、社会人入学選考の募集はいたしません。
理学専攻の募集人員は遺伝カウンセラー養成課程の募集人員5人を含みます。
東大阪モノづくり専攻の募集については、P55～58を参照してください。

※5 2月期は、令和5年9月実施の入試状況により、研究科によっては募集をしない可能性があります。
その場合は、本学大学院ホームページ(<https://www.kindai.ac.jp/graduate/>)にて公表いたします。

※6 実学社会起業イノベーション学位プログラムについての入試情報等の詳細は
(<https://www.kindai.ac.jp/graduate/departement/entrepreneurship/>)にて公表いたします。

【博士課程・博士後期課程】

研究科	専攻	募集人員		
		9月	1月	2月
法学研究科	法律学専攻	—	—	5
商学研究科	商学専攻	5	—	若干名
経済学研究科	経済学専攻	—	—	5
総合理工学研究科	理学専攻	2	—	若干名
	物質系工学専攻	2	—	若干名
	メカニクス系工学専攻	2	—	若干名
	エレクトロニクス系工学専攻	2	—	若干名
	環境系工学専攻	2	—	若干名
	東大阪モノづくり専攻 ^{※1}	2	—	若干名
薬学研究科	薬学専攻（臨床薬学コース・医療生命薬学コース）	3	若干名	—
	薬科学専攻	2	—	若干名
農学研究科	農業生産科学専攻	2	—	若干名
	水産学専攻	4	—	若干名
	応用生命化学専攻	5	—	若干名
	環境管理学専攻	2	—	若干名
	バイオサイエンス専攻	4	—	若干名
医学研究科	医学系専攻	—	45 ^{※2}	
生物理工学研究科	生物工学専攻	3	—	若干名
	生体システム工学専攻	2	—	若干名
システム理工学研究科	システム工学専攻	5	—	若干名
産業理工学研究科	産業理工学専攻（生物環境化学コース・電子情報工学コース） 社会環境科学コース	3	—	若干名

※1 総合理工学研究科東大阪モノづくり専攻の募集については、P55～58を参照してください。

※2 1月募集と2月募集をあわせて45人です。

1-3 令和6年度大学院入学試験 入学選考日程表

■9月期

出願期間	令和5年8月14日(月)～令和5年8月25日(金) 必着
試験日	令和5年9月9日(土)
合格発表日	令和5年9月29日(金)

【総合理工学研究科東大阪モノづくり専攻(博士前期課程)】

第1次出願期間	令和5年8月14日(月)～令和5年8月25日(金) 必着
第1次選考合格発表日	令和5年8月30日(水) 合否とも郵送にて通知
第2次出願期間	令和5年8月30日(水)～令和5年9月7日(木)
第2次選考日	令和5年9月9日(土)
第2次選考合格発表日	令和5年9月29日(金)

	研究科	学内入学選考	一般入学選考	社会人入学選考
修士・博士前期	法学研究科	○	○	○
	商学研究科	○	○	○
	経済学研究科	○	○	○
	総合理工学研究科	○	○	○
	総合理工学研究科 (建築デザイン専攻)	○	○	—
	総合理工学研究科 (東大阪モノづくり専攻)	—	○	—
	薬学研究科 (薬科学専攻)	○	○	○
	総合文化研究科	○	○	○
	農学研究科	○	○	○
	生物理工学研究科	○	○	○
	システム工学研究科	○	○	○
	産業理工学研究科	○	○	○
博士・博士後期	法学研究科	—	—	—
	商学研究科	—	○	○
	経済学研究科	—	—	—
	総合理工学研究科	—	○	○
	総合理工学研究科 (東大阪モノづくり専攻)	—	○	—
	薬学研究科 (薬科学専攻)	○	○	○
	薬学研究科 (薬学専攻)	○	○	○
	農学研究科	—	○	○
	医学研究科	—	—	—
	生物理工学研究科	—	○	○
	システム工学研究科	—	○	○
	産業理工学研究科	—	○	○

■ 1月期

【薬学研究科 薬学専攻（博士課程）・医学研究科（博士課程）】

出願期間	令和5年12月1日（金）～ 令和5年12月13日（水）必着
試験日	令和6年1月6日（土）
合格発表日	令和6年1月19日（金）

	研究科	学内入学選考	一般入学選考	社会人入学選考
博士	薬学研究科 （薬学専攻）	—	○	○
	医学研究科	—	○	○

■ 2月期

出願期間	令和6年1月12日（金）～ 令和6年2月1日（木）必着
試験日	令和6年2月17日（土）
合格発表日	令和6年3月5日（火）

【総合理工学研究科東大阪モノづくり専攻（博士前期課程）】

第1次出願期間	令和6年1月5日（金）～ 令和6年1月25日（木）必着
第1次選考合格発表日	令和6年1月31日（水） 可否とも郵送にて通知
第2次出願期間	令和6年1月31日（水）～ 令和6年2月8日（木）
第2次選考日	令和6年2月17日（土）
第2次選考合格発表日	令和6年3月5日（火）

※3

	研究科	学内入学選考	一般入学選考	社会人入学選考
修士・博士前期	法学研究科	○	○	○
	商学研究科	—	○	○
	経済学研究科※ ¹	—	○	○
	総合理工学研究科※ ²	—	○	○
	総合理工学研究科 （東大阪モノづくり専攻）	—	○	—
	薬学研究科 （薬科学専攻）	—	○	○
	総合文化研究科	—	○	○
	農学研究科	○	○	○
	生物理工学研究科	—	○	○
	システム工学研究科	—	○	○
	産業理工学研究科	—	○	○

※3

	研究科	学内入学選考	一般入学選考	社会人入学選考
博士・博士後期	法学研究科	—	○	○
	商学研究科	—	○	○
	経済学研究科 ^{※1}	—	○	—
	総合理工学研究科 ^{※2}	—	○	○
	総合理工学研究科 (東大阪モノづくり専攻)	—	○	—
	薬学研究科 (薬科学専攻)	—	○	○
	農学研究科	—	○	○
	医学研究科	—	○	○
	生物理工学研究科	—	○	○
	システム工学研究科	—	○	○
	産業理工学研究科	—	○	○

※1 経済学研究科（2月期）の財政学特論、地方財政学特論は定員の関係で募集しない可能性があります。詳しくは、経済学部学生センター大学院入試係にお問い合わせください。

※2 総合理工学研究科（2月期）の遺伝カウンセラー養成課程は定員の関係で募集しない可能性があります。詳しくは、理工学部学生センター大学院入試係にお問い合わせください。

※3 令和5年9月実施の入試状況により、研究科によっては募集をしない可能性があります。その場合は、本学大学院ホームページ（<https://www.kindai.ac.jp/graduate/>）にて公表いたします。

■入試予備日

台風・雪・地震等による災害その他特別な事情により、大学院入学選考がP13～15「令和6年度近畿大学 大学院入学試験 入学選考日程表」に定めた期日に実施できず、または完了しなかった試験分については下記の試験予備日に実施します。この場合の合格発表日・手続期間は改めて試験実施日および合格発表時に通知します。さらに予備日での実施が困難な場合は、状況が回復次第、できるだけ速やかに実施します。

入学試験日	試験予備日
令和5年9月9日（土）	令和5年9月16日（土）
令和6年1月6日（土）	令和6年1月13日（土）
令和6年2月17日（土）	令和6年2月24日（土）

2

共通項目

① 出願方法.....	18
② 出願書類.....	19
③ 書類送付先・問い合わせ先一覧.....	24
④ 合格発表および入学手続	25
⑤ 学費等一覧表.....	27
⑥ 奨学金・入学辞退に伴う学費等返還・その他.....	30

2-① 出願方法

出願方法（出願はインターネットのみとなります。）

※一部変更になる可能性もあります。

1

事前準備

必要書類は、発行に時間がかかる場合がありますので、できるだけ出願前に準備をしてください。

2

インターネット出願ページにアクセス

近畿大学大学院ホームページより「インターネット出願について」をクリックし、インターネット出願サイト (<https://www.webshutsugan.com/kindai-graduate/>) にアクセスしてください。

最初に『インターネット出願トップ画面』の“インターネット出願の流れ”を必ずよく読んでください。

3

出願

『インターネット出願トップ画面』の「試験日程一覧〈出願情報の登録〉」から出願する試験制度の下にある「出願登録する」ボタンをクリックし、その後は、画面の指示に従って、

①志望情報入力 → ②個人情報入力 の順番に入力してください。

※登録完了後と入金完了後に完了メールを送信します。携帯メールの場合は、ドメイン(@webshutsugan.com) の受信を許可してください。

※確認メールが迷惑メールフォルダなどに振り分けられる場合がありますので、注意してください。

4

入学検定料の支払い

クレジットカード、コンビニ、金融機関ATM (Pay-easy)、ネットバンキングのいずれかの方法でお支払いいただけます。

『出願登録完了画面』に記載されている各支払い方法に従ってお支払いください。

詳しい手続きについては、『インターネット出願トップ画面』の“入学検定料の支払方法について”をご確認ください。

※一旦入金された入学検定料は、理由の如何に関わらず、返金できません。

※入学検定料の他に手数料が必要です。

5

出願書類の郵送

募集要項に記載されている必要書類を確認して封筒に入れ、インターネット出願サイトより宛名ラベル(A4)を印刷し、同封の封筒に貼付してください。出願期間内に郵便局の窓口から簡易書留・速達で郵送してください。(出願締切日必着)

※登録完了画面から宛名ラベルを出力してください。

注意：・登録完了後、検定料を支払い、出願書類を郵送することで出願が完了します。

・検定料は32,000円となります。

(総合理工学研究科東大阪モノづくり専攻は、P55～58を参照してください)

・インターネット出願は24時間可能ですが、検定料の支払いは出願締切日まで(営業時間はATMやコンビニなどの施設によって異なります)、出願書類は出願締切日必着です。できるだけ余裕をもって出願してください。

・総合理工学研究科東大阪モノづくり専攻(第2次選考)の出願登録の流れについては、第1次選考合格者のみ通知します。

・受験票が試験実施2日前までに未着の場合は、出願した各大学院入試係へお問い合わせください。(P24参照)

2-2 出願書類

【修士課程・博士前期課程】

出願書類	内 容	試験制度					
		9月期			2月期		
		学内※3	一般	社会人	学内	一般	社会人
出願確認票	インターネット出願サイトより画面の指示に従って必要な情報を入力し、出願登録をしてください。 出願写真データについては、P23をご確認ください。 ※紙での提出は不要です。	○	○	○	○	○	○
履歴書 (インターネット出願サイトトップの募集要項よりダウンロード)	必要事項を記入してください。	○	○	○	○	○	○
卒業または卒業見込証明書	出願3ヵ月以内に発行したもの。大学院修了(見込)者は学部および大学院の証明書を提出してください。	○	○	○	○	○	○
成績証明書	出願3ヵ月以内に発行したもの。大学院修了(見込)者は学部および大学院の証明書を提出してください。	○	○	○	○	○	○
推薦書 (学内入学選考用)	学長宛。(ダウンロード用紙使用可) ※「推薦書」について、総合理工学研究科東大阪モノづくり専攻のみ9月・2月の〈一般入学選考〉にも必要です。	○	— ※	—	○	— ※	—
封筒 ※同封のものをご使用ください。	インターネット出願サイトより宛名ラベル(A4)を印刷し貼付してください。	○	○	○	○	○	○
在職証明書 (書式自由) (社会人入学選考用)	○法学・商学・経済学・総合文化研究科 3年以上在職経験があることを証明する書類または社会人としての生活経験を自己申告する書類。 ○総合理工学・薬学研究科 2年以上の在職経験があることを証明する書類。 ○農学・生物理工学・システム工学・産業理工学研究科 1年以上の在職経験があることを証明する書類。	—	—	○	—	—	○
職場の長の推薦書 (書式自由) (社会人入学選考用)	○総合理工学・薬学・農学・生物理工学・システム工学・産業理工学研究科 研究科長宛。志望する専攻に関連する研究に従事している場合は、その内容についての意見を含む。 ※その他の研究科は提出不要。	—	—	○	—	—	○
研究報告書または研究計画書	○法学研究科 (インターネット出願サイトよりダウンロード) 志望専修科目に関する「研究計画書」(800～1100字)	—	—	○	—	—	○
	○商学研究科 (書式自由) 志望する演習(専修科目)で計画する「研究題目」および「研究計画書」(500字～1200字程度) 出願前に必ず志望する演習(専修科目)教員または学生センターに相談してください。	○	○		—	○	
	○経済学研究科 (書式自由) 志望する演習(専修科目)で計画する「研究題目」および「研究計画書」(1000～1500字程度)	○	○		—	○	
	○総合文化研究科 (インターネット出願サイトよりダウンロード) 志望する専修科目に関しての「研究計画書」(1200字程度)	○	○		—	○	

2-2 出 願 書 類

前ページの続き

出願書類	内 容	試験制度					
		9 月 期			2 月 期		
		学内	一般	社会人	学内	一般	社会人
研究報告書または 研究計画書	○総合理工学・薬学・農学・生物理工学・システム工学・ 産業理工学研究科 (書式自由) これまで従事してきた研究に関する「研究報告書」または出 願する専攻で志望する研究についての「研究計画書」(500 ～1200字)	—	—	○	—	—	○
薬剤師免許証(写)	すでに免許を取得している者 薬学研究科薬科学専攻生命薬科学コースの社会医療薬科学 系の3分野(臨床薬剤情報学、医薬品評価解析学、医療薬剤 学)は、必要です。	—	○	○	—	○	○
TOEIC等の スコア(写)	○商学研究科 TOEIC等の範囲: TOEIC・TOEIC IP・TOEFL iBT・TOEFL CBT・IELTS・英検(外国語の試験に代わります。) スコアの有効期限は、出願締切日から起算し、過去2年以 内のもの	○	○	—	—	○	—
	○経済学研究科 TOEIC等の範囲: TOEIC・TOEIC IP・TOEFL iBT・TOEFL CBT・TOEFL ITP・IELTS(外国語の試験に代わります。) スコアの有効期限は、出願締切日から起算し、過去2年以 内のもの	○	○	—	—	○	—
	○総合理工学研究科 TOEIC等の範囲: TOEIC L&R・TOEIC L&R IP・TOEFL iBT・ TOEFL ITP・IELTS(外国語の試験に代わります。※理学専 攻除く) スコアの有効期限は、出願締切日から起算し、過去2年以 内のもの ※東大阪モノづくり専攻は提出不要	○	○	—	—	○	—
	○生物理工学研究科 TOEIC等の範囲: TOEIC L&R(公開)・TOEFL iBT・TOEFL ITP・IELTS(外国語の試験に代わります。) スコアの有効期限は、出願開始日より2年以内に受験した もの	○	○	—	—	○	—
	○システム工学研究科 TOEIC等の範囲: TOEIC L&R(公開)・TOEFL iBT・TOEFL ITP・IELTS (一般入学選考は学力試験に代えてスコアを利用する場合のみ) スコアの有効期限は、出願開始日より2年以内に受験した もの	○	○	—	—	○	—
小論文	〈総合理工学研究科東大阪モノづくり専攻のみ〉 ① 題名:「モノづくりを通して、いかに自分を高めるか」 ② 書式: インターネット出願サイトからダウンロード 1) 原則としてパソコン(またはワープロ)を使用してくだ さい。 2) 判の大きさ: A4版(縦長)・文字方向: 横書き 3) 文字の大きさ: 11ポイント・1行あたりの文字数40字 4) 1ページあたりの行数: 40行 ※箇条書きを活用し簡潔に1枚にまとめること 5) 氏名、志望専修科目および担当教員(第1志望のみ)を 記入した表紙をつけてください。(研究概要を参照) ③ 小論文に関する添付資料 1) 業績を示す論文・報告書等(コピー可) ※提出された資料は返却いたしませんのでご了承ください。	—	○	—	—	○	—

【博士後期課程】

出願書類	内 容	試験制度				
		9月期			2月期	
		学内 ^{※3}	一般	社会人	一般	社会人
出願確認票	インターネット出願サイトより画面の指示に従って必要な情報を入力し、出願登録をしてください。 出願写真データについては、P23をご確認ください。 ※紙での提出は不要です。	○	○	○	○	○
履歴書 ^{※4} (インターネット出願サイトよりダウンロード)	必要事項を記入してください。	○	○	○	○	○
修了または修了見込証明書 ^{※4}	出願3ヵ月以内に発行したもの。	○	○	○ ^{※1}	○	○ ^{※1}
成績証明書 ^{※4}	出願3ヵ月以内に発行したもの。	○	○	○	○	○
推薦書(書式自由)	学長宛。(ダウンロード用紙使用可)	○	—	—	—	—
研究経過報告書	A4用紙に1500字程度(修士論文提出者を除く)	○	○	—	○	—
修士論文(写)および学会発表等の論文別冊	〈修了見込の者については下記の書類〉 商学研究科:志望する演習(専修科目)で計画する「研究題目」および「研究計画書」(1200字～3000字・書式自由)を出願時に提出する。 総合理工学研究科:研究経過報告書(1500字程度・書式自由) 生物理工学研究科:これまでの研究の概要(A4用紙に1500字程度) システム工学研究科:研究経過報告書(1500字程度・書式自由) 産業理工学研究科:研究経過報告書(A4用紙に1500字程度)	—	○	—	○	—
封筒 ※同封のものをご使用ください。	インターネット出願サイトより宛名ラベル(A4)を印刷し貼付してください。	○	○	○	○	○
在職証明書(書式自由)	2年以上の在職経験のあることを証明する書類。	—	—	○	—	○
職場の長の推薦書(書式自由)	研究科長宛。志望する専攻に関連する研究に従事している場合は、その内容についての意見を含む。	—	—	○	—	○
研究報告書または研究計画書(書式自由)	1200字～3000字	—	—	○	— ^{※2}	○ ^{※2}

※1 社会人入学選考を受験する場合は「卒業または修了証明書」を提出してください。

※2 法学研究科:一般入学選考についても研究計画書(1200字程度・書式自由)を出願時に提出してください。また、社会人入学選考に出願する際に修士論文または研究論文のいずれもない場合は、研究計画書に加えて研究報告書(3000字～4000字・書式自由)を提出してください。

※3 博士後期課程の学内入学選考は、薬学研究科薬科学専攻のみ実施します。

※4 総合理工学研究科東大阪モノづくり専攻はこれら3つの書類と学部の卒業証明書を提出してください。

2-2 出 願 書 類

【博士課程：薬学研究科薬学専攻】

出願書類	内 容	試験制度				
		9月期			1月期	
		学内	一般	社会人	一般	社会人
出願確認票	インターネット出願サイトより画面の指示に従って必要な情報を入力し、出願登録をしてください。 出願写真データについては、P23をご確認ください。 ※紙での提出は不要です。	○	○	○	○	○
履歴書 (インターネット出願サイトよりダウンロード)	必要事項を記入してください。	○	○	○	○	○
卒業(見込)証明書	出願3ヵ月以内に発行したもの。 大学院修了(見込)者は学部および大学院の証明書を提出してください。	○	○	○※1	○	○※1
成績証明書	出願3ヵ月以内に発行したもの。 大学院修了(見込)者は学部および大学院の証明書を提出してください。	○	○	○	○	○
推薦書(書式自由)	学長宛。(ダウンロード用紙使用可)	○	—	—	—	—
修士論文(写)および 学会発表等の論文別冊	卒業論文(写)(6年制学部卒業)または 修士論文(写)を提出	○	○	—	○	—
封筒 ※同封のものをご使用ください。	インターネット出願サイトより宛名ラベル(A4)を印刷し貼付してください。	○	○	○	○	○
在職証明書(書式自由)	3年以上の在職経験のあることを証明する書類。	—	—	○	—	○
職場の長の推薦書 (書式自由)	研究科長宛。志望する専攻に関連する研究に従事している場合は、その内容についての意見を含む。	—	—	○	—	○
研究報告書または 研究計画書(書式自由)	1200字～3000字(一般入学選考で卒業論文または修士論文提出者を除く)	—	○	○	○	○
薬剤師免許証(写)	臨床薬学コースのみ(卒業見込者を除く)	—	○	○	○	○

※1 社会人入学選考を受験する場合は「卒業または修了証明書」を提出してください。

【博士課程：医学研究科】

出願書類	内 容	試験制度			
		1月募集		2月募集	
		一般	社会人	一般	社会人
出願確認票	インターネット出願サイトより画面の指示に従って必要な情報を入力し、出願登録をしてください。 出願写真データについては、P23をご確認ください。 ※紙での提出は不要です。	○	○	○	○
履歴書 (インターネット出願サイトの募集要項よりダウンロード)	必要事項を記入してください。	○	○	○	○
卒業(見込)証明書	出願3ヵ月以内に発行したもの。 大学院修了(見込)者は学部および大学院の証明書を提出してください。	○	○	○	○
成績証明書	出願3ヵ月以内に発行したもの。 大学院修了(見込)者は学部および大学院の証明書を提出してください。	○	○	○	○
推薦書(書式自由) (医学研究科以外の修士・博士修了者または修了見込みの者のみ)	出身大学大学院指導教員によるもの。 学長宛。(ダウンロード用紙使用可)	○	○	○	○
封筒 ※同封のものをご使用ください。	インターネット出願サイトより宛名ラベル(A4)を印刷し貼付してください。	○	○	○	○

〈出願写真データについて〉

出願写真は、インターネット出願時に出願写真データをアップロードしていただきます。
郵送の必要はありません。

出願写真データのアップロード方法は、下記を参照ください。

全員提出

- 出願3か月以内に撮影した受験者本人のみが写ったカラー写真(モノクロ・スナップ写真は不可)
- 上半身、正面(焦点が合ったもの)、無帽(ヘアバンドも不可)、背景無地、枠無しものを使用してください。
- 制服、私服は問いません。ただし、入学が許可された場合には、学生証用写真等に使用します。卒業時まで写真交換はできません。
- 眼鏡着用の場合、レンズは無色透明(ブルーライトカットレンズ等の反射するものは不可)で、レンズに光が反射していないものに限ります。
- 画像に加工を施していないこと。また、不鮮明なもの(背景と人物の境目がわかりにくいもの等)、サングラス・マスクや髪や影で目元輪郭を隠している、目を閉じている等、個人の判別、本人確認が困難な写真は使用できません。
- 平常の顔貌と著しく異なるもの(たとえば、口を開き歯が必要以上に見えているものは不可)
- 変色や傷、汚れのないもの
- 証明写真等、プリントアウトした写真を撮影したものは不可。
- ファイル形式: JPEG
- 推奨サイズ: VGA (640×480サイズ)

受け付けできる写真例



- 上部に隙間がある。
- 水平かつ正面を向いている。
- 顔の大きさが全体の3分の1以上ある。
- 両目の瞳が確認できる。
- 肩の一部が写っている。

【不適当な写真例】 ※次のような写真の場合は、再請求することがあります。



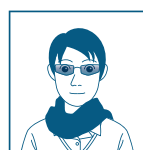
髪や撮影機材の影がかかっている



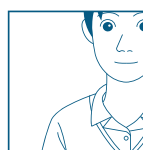
髪が目にかかっている



どちらかの目がかくれている



マフラーやサングラスを着用している



顔が枠から出ている



顔が小さすぎる



背景がある(カーテン、窓等が映っている)



正面を向いていない

※出願写真データは画面上でサイズを調整して登録することができますので、顔がはっきり映るように適宜調整してください。
(顔が大きすぎる、小さすぎるものは不可)

※出願写真として適切ではないと判断された場合は、再提出になることがあります。出願期間内に再提出を行わない場合、出願は受理できません。

※一度受理された出願写真データは、変更することができません。

〈写真アップロード方法〉



1

必要書類確認・写真アップロードの画面に表示される「出願写真をアップロード」ボタンを押してください。



2

出願写真アップロード画面にある「出願写真に関する注意事項」を読み、[ファイル選択]ボタンを押してパソコン・スマートフォンの端末に保存されている写真を選択してください。選択後[写真の加工に進む]ボタンを押してください。



3

ドラッグによる画像位置の移動や、回転・拡大・縮小、明るさの調整等ができます。画面の指示にしたがって操作し、[切り抜く]ボタンを押してください。



4

最後に確認事項をよく読み、すべてにチェックを入れたら「出願写真として提出する」ボタンを押してください。これで出願写真のアップロードは完了です。

※前ページに戻る場合は、ブラウザの[戻る]ボタンを使用せずに、画面内の[戻る]ボタンを使用してください。

2-③ 書類送付先・問い合わせ先一覧

【東大阪キャンパス】 〒577-8502 大阪府東大阪市小若江3-4-1

研究科	書類送付先・問い合わせ先		電話番号
法学研究科	法学部学生センター大学院入試係	C館1階	(06) 4307-3041
商学研究科	経営学部学生センター大学院入試係	21号館2階	(06) 4307-3045
経済学研究科	経済学部学生センター大学院入試係	B館1階	(06) 4307-3043
総合理工学研究科	理工学部学生センター大学院入試係	38号館1階	(06) 4307-3047
	建築学部学生センター大学院入試係	33号館1階	(06) 4037-3057
薬学研究科	薬学部学生センター大学院入試係	39号館1階	(06) 4307-3058
総合文化研究科	文芸学部学生センター大学院入試係	A館1階	(06) 4307-3061
	総合社会学部学生センター大学院入試係	G館1階	(06) 4307-3062

【奈良キャンパス】 〒631-8505 奈良県奈良市中町3327-204

研究科	書類送付先・問い合わせ先		電話番号
農学研究科	奈良キャンパス学生センター学生支援課大学院入試係		(0742) 43-1849

【大阪狭山キャンパス】 〒589-8511 大阪府大阪狭山市大野東377番地の2

研究科	書類送付先・問い合わせ先		電話番号
医学研究科	医学部学生センター学務課大学院入試係		(072) 366-0221

【和歌山キャンパス】 〒649-6493 和歌山県紀の川市西三谷930

研究科	書類送付先・問い合わせ先		電話番号
生物理工学研究科	和歌山キャンパス学生センター教務・学生担当大学院入試係		(0736) 77-3888

【広島キャンパス】 〒739-2116 広島県東広島市高屋うめの辺1番

研究科	書類送付先・問い合わせ先		電話番号
システム理工学研究科	広島キャンパス学生センター教務担当大学院入試係		(082) 434-7006

【福岡キャンパス】 〒820-8555 福岡県飯塚市柏の森11-6

研究科	書類送付先・問い合わせ先		電話番号
産業理工学研究科	福岡キャンパス学生センター学生支援課大学院入試係		(0948) 22-5655

2-4 合格発表および入学手続

発表方法

合格者には合格通知書および入学手続に必要な書類一式を、不合格者には試験結果通知書を各受験生宛に速達で郵送します。

■ 9月期

試験日	合格発表日	入学手続期間	
令和5年9月9日(土)	令和5年9月29日(金)	一括納入または 入学申込金のみ納入期間	入学申込金納入者の 前期授業料等納入期間
		令和5年9月29日(金) ～10月6日(金)	令和5年9月29日(金) ～12月8日(金)

■ 1月期 薬学研究科・医学研究科

試験日	合格発表日	入学手続期間
令和6年1月6日(土)	令和6年1月19日(金)	令和6年1月19日(金)～令和6年2月8日(木)

■ 2月期

試験日	合格発表日	入学手続期間
令和6年2月17日(土)	令和6年3月5日(火)	令和6年3月5日(火)～令和6年3月21日(木)

2-④ 合格発表および入学手続

入学手続書類

合格者には、合格通知書および入学に必要な提出書類ならびに手続方法を送付、通知します。
指示に従って手続をしてください。手続期間を過ぎますと入学を許可できませんので注意してください。
(締切日消印有効)

入学手続

合格者は、所定の期日までに入学手続を完了してください。

なお、期日までに所定の手続を完了しない場合は、入学の意志がないものとして入学許可を取り消します。また、一度受理した入学手続書類および入学金（入学申込金）はいかなる理由があっても返還いたしません。

■入学金（入学申込金）・学費等の納入

入学金（入学申込金）・学費等納入金の納入は銀行振込（本学指定の振込依頼書）により**入学手続期間内**に次の〔1〕または〔2〕のいずれかの方法により納入してください。（締切日消印有効）

※振込依頼書は ☐ (イ) 一括手続用 ☐ (ロ) 一次手続用 ☐ (ハ) 二次手続用 の3枚が同封されていますので、切り離して ☐ (イ) 一括手続用 1枚のみを使用、または ☐ (ロ) 一次手続用 ☐ (ハ) 二次手続用 の2枚のみを使用（9月期のみ選択可）のいずれかで納入してください。

〔1〕 一括して納入する方法

入学金・学費等納入金を一括して所定の期間内に納入（ ☐ (イ) 一括手続用 の振込依頼書で納入してください。）するとともに、入学に必要な書類を大学に別途郵送することによって入学手続は完了します。

※医学研究科は一括納入のみ

〔2〕 2回に分けて納入する方法 ※9月期のみ

- (1) 第一次手続 入学申込金のみ納入（令和5年10月6日（金）まで）（ ☐ (ロ) 一次手続用 の振込依頼書で納入してください。）
- (2) 第二次手続 学費等を納入（令和5年12月8日（金）まで）（ ☐ (ハ) 二次手続用 の振込依頼書で納入してください。）するとともに、入学に必要な書類を大学に別途郵送することによって入学手続は完了します。

※10月6日（金）までに入学申込金を納入しないと二次手続をすることができません。

※入学手続に必要なすべての学費を納入された時点で、「入学申込金」は「入学金」として取り扱います。

（注1）学費については、P27～29を参照してください。

（注2）10万円を超える現金振込の際には、指定の振込依頼書とともに、振込手続を行う方の本人確認書類（運転免許証、健康保険証、パスポートなど）をご用意のうえ、国内の金融機関窓口をご利用ください。

（注3）本学の領収書は発行しませんので、振込金（兼手数料）受取書や振込控等は大切に保管してください。

2-5 学費等一覧表

【修士課程・博士前期課程】

単位：円

研究科	学年	費 目			
		入学金	授業料 []内前期納入分	学生健保 共済会費	合計
法 学 研 究 科 商 学 研 究 科 経 済 学 研 究 科 総 合 文 化 研 究 科	1 年次	200,000 (※ 100,000)	700,000 [350,000]	6,500	906,500 (※ 806,500)
	2 年次	—	750,000 [375,000]	6,500	756,500
総 合 理 工 学 研 究 科 薬 学 研 究 科 (薬 科 学 専 攻)	1 年次	200,000 (※ 100,000)	950,000 [475,000]	6,500	1,156,500 (※ 1,056,500)
	2 年次	—	1,000,000 [500,000]	6,500	1,006,500
農 学 研 究 科 生 物 理 工 学 研 究 科 シ ス テ ム 工 学 研 究 科 産 業 理 工 学 研 究 科	1 年次	200,000 (※ 100,000)	950,000 [475,000]	4,500	1,154,500 (※ 1,054,500)
	2 年次	—	1,000,000 [500,000]	4,500	1,004,500

備 考

- (1) 入学時納入金は、入学金、授業料[前期分]、学生健保共済会費の合計額です。
- (2) ※印は、本学の学部および大学院を令和6年3月卒業・修了見込の方に適用されます。
- (3) 授業料[後期分]の納入期は10月です。
- (4) 表示額以外に校友会終身会費30,000円が必要です(入学年次に20,000円、最終学年次に10,000円)。
入学後、校友会の準会員となり、卒業後、正会員になります。
ただし、本学学園出身者で既に校友会終身会費を納めた方は不要です。
- (5) 経済学研究科の夜間主コースに入学する社会人には学費減免制度があります。詳細については経済学部学生センター大学院入試係(P24参照)に問い合わせてください。
- (6) 総合文化研究科心理学専攻臨床心理学コースでは、実習費として100,000円(年額)が別途必要となります。
- (7) 上記は令和5年度入学時の金額ですので、変更される場合があります。予めご了承ください。

2-⑤ 学費等一覧表

【博士後期課程】

単位：円

研究科	学年	費 目			
		入学金	授業料 []内前期納入分	学生健保 共済会費	合計
法 学 研 究 科 商 学 研 究 科 経 済 学 研 究 科	1 年次	200,000 (※不要)	700,000 [350,000]	6,500	906,500 (※ 706,500)
	2 年次	—	750,000 [375,000]	6,500	756,500
	3 年次	—	770,000 [385,000]	6,500	776,500
総合理工学研究科 薬 学 研 究 科 (薬 科 学 専 攻)	1 年次	200,000 (※不要)	950,000 [475,000]	6,500	1,156,500 (※ 956,500)
	2 年次	—	1,000,000 [500,000]	6,500	1,006,500
	3 年次	—	1,030,000 [515,000]	6,500	1,036,500
農 学 研 究 科 生物理工学研究科 システム工学研究科 産業理工学研究科	1 年次	200,000 (※不要)	950,000 [475,000]	4,500	1,154,500 (※ 954,500)
	2 年次	—	1,000,000 [500,000]	4,500	1,004,500
	3 年次	—	1,030,000 [515,000]	4,500	1,034,500

備 考

- (1) 入学時納入金は、入学金、授業料[前期分]、学生健保共済会費の合計額です。
- (2) ※印は、本学の大学院修士課程または博士前期課程を令和6年3月修了見込の方に適用されます。
- (3) 授業料[後期分]の納入期は10月です。
- (4) 表示額以外に校友会終身会費30,000円が必要です(入学年次に20,000円、最終学年次に10,000円)。
入学後、校友会の準会員となり、卒業後、正会員になります。
ただし、本学学園出身者で既に校友会終身会費を納めた方は不要です。
- (5) 上記は令和5年度入学時の金額ですので、変更される場合があります。予めご了承ください。

【博士課程】

単位：円

研究科	学年	費 目			
		入学金	授業料 []内前期納入分	学生健保 共済会費	合計
薬学研究科 (薬学専攻)	1年次	200,000	1,000,000 [500,000]	6,500	1,206,500
	2年次	—	1,000,000 [500,000]	6,500	1,006,500
	3年次	—	1,000,000 [500,000]	6,500	1,006,500
	4年次	—	1,000,000 [500,000]	6,500	1,006,500
医学研究科	1年次	200,000	1,000,000 [500,000]	4,500	1,204,500
	2年次	—	1,000,000 [500,000]	4,500	1,004,500
	3年次	—	1,000,000 [500,000]	4,500	1,004,500
	4年次	—	1,000,000 [500,000]	4,500	1,004,500

備 考

- (1) 入学時納入金は、入学金、授業料〔前期分〕、学生健保共済会費の合計額です。
- (2) 授業料〔後期分〕の納入期は10月です。
- (3) 表示額以外に校友会終身会費30,000円が必要です(入学年次に20,000円、最終学年次に10,000円)。
入学後、校友会の準会員となり、卒業後、正会員になります。
ただし、本学学園出身者で既に校友会終身会費を納めた方は不要です。
- (4) 医学研究科は、基礎医学系の専攻分野に入学した場合、選考のうえ年額50万円の奨学金給付制度があります。詳細については、
医学部・病院運営本部 医学部学生センター学務課大学院入試係に問い合わせてください。
- (5) 上記は令和5年度入学時の金額ですので、変更される場合があります。予めご了承ください。

2-6 奨学金・入学辞退に伴う学費等返還・その他

奨学金

勉強意欲が旺盛であり、経済的理由によって修学困難な学生に対して、学資の一部を給付あるいは貸与する奨学金制度があります。

なお、詳細については本学奨学金担当窓口（東大阪キャンパスは学生部奨学課、その他のキャンパスは各学生センターの担当窓口）にお問い合わせください。

1. 近畿大学奨学金

- (1) 近畿大学給付奨学金（医学研究科を除く）
- (2) 近畿大学奨学金（無利子貸与・定期採用）
- (3) 近畿大学災害特別奨学金（無利子貸与・随時）
- (4) 近畿大学応急奨学金（無利子貸与・随時）

2. 日本学生支援機構奨学金

- (1) 第一種奨学金（無利子・選択型）〈特に優れた業績による返還免除制度があります〉
- (2) 第二種奨学金（有利子・選択型）
- (3) 入学時特別増額貸与奨学金（有利子・一括貸与）

入学辞退に伴う学費等返還

入学手続完了者が入学を辞退（学費返還を伴う）される場合、「入学辞退に伴う学費等返還願」を令和6年3月29日（金）午後5時までに提出願います。後日、入学金（入学申込金）を除く学費等を返還します。

手続方法や入学辞退の申し出に必要な「入学辞退に伴う学費等返還願」の用紙は、合格通知（入学手続書類等）に同封いたします。

「入学辞退に伴う学費等返還願」到着後1週間前後で受領書を送付しますので、受領書未着の場合は各大学院入試係（届出先）まで連絡してください。

学費等の返還は、用紙受付（書類完備）が3月1日（金）までの方には、3月末日までに銀行振込にて送金します。それ以後の受付分につきましては、4月末日までに銀行振込にて送金します。

(注) 手続書類提出締切後は理由の如何を問わず一切受付できませんのでご了承ください。

その他

身体機能に障がいがある人、不慮の事故による負傷者・疾病者の申し出について

- (1) 身体機能に障がいのある人で、受験時および入学後の就学に特別な配慮を必要とする場合は

必ず出願前に各研究科に相談してください。

事前に書類等を提出いただくことがあります。ただし、入学試験の可否に影響をおよぼすことはありません。

- (2) 出願後の不慮の事故等による負傷者・疾病者が、受験時に特別な配慮・措置を希望する場合は至急各研究科に申し出てください。
- (3) 特別な配慮・措置を希望する場合でもご希望に添えない場合もありますのでご了承ください。

3

出願資格

- ① 学内入学選考 32
- ② 一般入学選考 33
- ③ 社会人入学選考 37

3-① 出願資格 学内入学選考

修士課程・博士前期課程（9月・2月）

〈全研究科 全専攻〉

令和6年3月近畿大学を卒業見込みで学科長または演習・卒業研究指導教員のいずれかの推薦があり、志望専攻と関係ある課程を修めた者。ただし、法学研究科は法学部（通信制課程を含む）を卒業見込みで演習指導教員または学科長の推薦する者を、商学研究科は経営学部を、経済学研究科は経済学部を、農学研究科は農学部を卒業見込みで演習指導教員または学科長の推薦する者。総合文化研究科は文芸学部・総合社会学部を卒業見込みで演習指導教員の推薦する者。農学研究科および生物理工学研究科は当該学部の既卒業者を含む。

※各研究科とも、別に定める成績基準を満たす者。

※総合文化研究科心理学専攻臨床心理学コースの出願者は、公認心理師の受験資格に必要とされる科目を全て修得している。または修得見込みの者に限る。

※文系の課程を修めた者で総合理工学研究科理学専攻の遺伝カウンセラー養成課程を志望する者は、生物学あるいは医療関係の科目を2単位以上履修していることを条件に、出願を認める。該当者は出願期日の2ヵ月前までに総合理工学研究科に成績証明書を提出し、専修科目等について相談してください。

※法学部通信制課程については、令和5年度卒業（見込み）を含む。

博士後期課程（9月）

〈薬学研究科 薬科学専攻〉

令和6年3月近畿大学大学院修士課程または博士前期課程を修了見込みで研究科長または指導教員のいずれかの推薦があり、志望専攻と関係ある課程を修めた者。

博士課程（9月）

〈薬学研究科 薬学専攻〉

令和6年3月近畿大学薬学部医療薬学科を卒業見込みの者または近畿大学大学院修士課程を修了見込みの者で、学科長、研究科長または指導教員のいずれかの推薦があり、志望専攻と関係ある課程を修めた者。

※臨床薬学コースの出願者は、薬剤師免許取得見込みの者に限る。

※各コースとも、別に定める成績基準を満たす者。

3-2 出願資格 一般入学選考

修士課程・博士前期課程（9月・2月）

〈全研究科 全専攻〉

次のいずれかに該当し、志望専攻と関係ある課程を修めた者。

（ただし法学・商学・経済学・総合文化研究科は志望する専攻との関係の有無を問わない）

- (1) 大学の学部を卒業した者および令和6年3月卒業見込みの者。
- (2) 大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与された者および令和6年3月までに学士の学位を授与される見込みの者。
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者および令和6年3月修了見込みの者。
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者および令和6年3月修了見込みの者。
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者および令和6年3月修了見込みの者。
- (6) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者および令和6年3月修了見込みの者。
- (7) 文部科学大臣の指定した者。（昭和28年2月7日文部省告示5号）
- (8) 本大学院において個別の入学資格審査により、上記と同等以上の学力があると認めた者で22歳に達した者および令和6年3月31日までに達する者。
- (9) 本大学院において上記（1）と同等以上の学力があると認めた者。

※上記（7）、（8）または（9）に該当すると思われる者は、研究科で出願資格の有無を事前に審査しますので、出願期日の2カ月前までに研究科に相談し、「研究歴」「研究の成果」等の審査に必要な書類を提出してください。

※法学・商学・経済学以外の研究科を他分野（他学部や他学科）から受験する場合は、出願前に必ず専修科目を担当する教員に相談のうえ出願してください。

※文系の課程を修めた者で総合理工学研究科理学専攻の遺伝カウンセラー養成課程を志望する者は、出願期日の2カ月前までに理工学部学生センター大学院入試係に成績証明書を提出し、受験科目（専門科目）、専修科目等について相談してください。

※薬学研究科薬科学専攻

生命薬科学コースの社会医療薬科学系3分野（医薬品情報学、社会薬学、医療薬剤学）の修学には、薬剤師免許が必要要件であるため、同分野の出願者は薬剤師免許取得者または取得見込み者に限る。

※総合文化研究科心理学専攻臨床心理学コースの出願者は、公認心理師の受験資格に必要とされる科目を全て修得している、または修得見込みの者に限る。

博士課程・博士後期課程（9月・2月）**〈全研究科 全専攻〉**

次のいずれかに該当し、志望専攻と関係ある課程を修めた者。

- (1) 修士の学位を有する者および令和6年3月修士課程または博士前期課程を修了見込みの者。
- (2) 専門職学位を有する者および令和6年3月までに専門職学位を取得見込みの者。
- (3) 外国において修士の学位に相当する学位を有する者および令和6年3月までに取得見込みの者。
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者および令和6年3月までに取得見込みの者。
- (5) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者および令和6年3月までに取得見込みの者。
- (6) 文部科学大臣の指定した者。（平成元年9月1日文部省告示第118号）
- (7) 本大学院において個別の入学資格審査により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で24歳に達した者および令和6年3月31日までに達する者。
- (8) 大学を卒業した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者。

※なお、上記（6）、（7）または（8）に該当すると思われる者は、研究科で出願資格の有無を事前に審査しますので、出願期日の2カ月前までに研究科に相談し、「研究歴」「研究の成果」等の審査に必要な書類を提出してください。（下記「薬学研究科を含む」）

※「薬学研究科」大学の薬学科等の6年制学部を卒業した者または令和6年3月までに卒業見込みの者で、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者。

博士課程 薬学研究科 薬学専攻 (9月・1月)

次のいずれかに該当し、志望専攻と関係のある課程を修めた者。

- (1) 大学の薬学科等の6年制学部を卒業した者および令和6年3月卒業見込みの者。
- (2) 外国において学校教育における18年の課程（最終課程は薬学科等の6年制学部）を修了した者および令和6年3月修了見込みの者。
- (3) 大学（大学の薬学科等の6年制学部を履修する課程を除く）を卒業し、または外国において学校教育における16年の課程を修了した後、大学院修士課程、博士前期課程を修了した者で、本大学院において当該研究の成果等により、大学の薬学科等の6年制学部を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者。
- (4) 大学（大学の薬学科等の6年制学部を履修する課程を除く）を卒業し、または外国において学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において2年以上研究に従事した者（令和6年3月末に2年間に達する見込みの者を含む）で、本大学院において、当該研究の成果等により、大学の薬学科等の6年制学部を履修する課程を卒業したと同等以上の学力はあると認めた者。
- (5) 大学の薬学科等の4年制学部を卒業し、病院・薬局等において、3年以上薬剤師として業務に従事した者（令和6年3月末に3年間に達する見込みの者を含む）で、本大学院において、当該薬剤師業務の実績等により、大学の薬学科等の6年制学部を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者。
- (6) 本大学院において上記（1）に定める学科を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、24歳に達した者および令和6年4月1日までに達する者。
- (7) 臨床薬学コースの出願者は、薬剤師免許取得者または取得見込みの者に限る。

※なお、上記（4）～（6）に該当すると思われる者は、研究科で出願資格の有無を事前に審査しますので、研究科に相談し、「研究歴」、「研究の成果」あるいは「薬剤師業務歴」「薬剤師業務の実績」等の審査に必要な書類を提出してください。

博士課程 医学研究科 (1月・2月)

- (1) 大学の医学科、歯学科、獣医学科、薬学科（6年制）、または防衛医科大学校を卒業した者および令和6年3月卒業見込みの者。
- (2) 外国において学校教育における18年の課程（最終課程は医学、歯学、獣医学または薬学）を修了した者および令和6年3月修了見込みの者。
- (3) 大学（医学、歯学、獣医学または薬学を履修する課程を除く）を卒業し、または外国において学校教育における16年の課程を修了した後、大学院修士課程、博士前期課程あるいは大学、研究所等において2年以上研究に従事した者（令和6年3月末に2年間に達する見込みの者を含む）で、本大学院において、当該研究の成果等により、大学の医学、歯学、獣医学または薬学を履修する課程を卒業したと同等以上の学力があると認めた者。
- (4) 本大学院において上記（1）に定める学科を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、24歳に達した者および令和6年4月1日までに達する者。

※上記（3）、（4）に該当すると思われる者は、研究科で出願資格の有無を事前に審査しますので、「**出願資格審査に関わる書類**」を下記のとおり提出してください。

提出期限	1月募集：令和5年10月27日（金） 2月募集：令和5年12月15日（金）
出願資格 審査書類	(1) 履歴書（様式1） (2) 承諾書兼確認書（様式2） (3) 承諾書（様式3） (4) 研究業績に係る書類等（様式4-1、4-2）※医師の場合不要
提出先	医学部学生センター学務課

提出書類は近畿大学 医学部・大学院 医学研究科ホームページ（下記URL）からダウンロードしてください。

医学部・医学研究科

医学研究科紹介

▶ 入試情報

▶ 出願資格審査に関わる書類について

URL <https://www.kindai.ac.jp/medicine/about/>

3-3 出願資格 社会人入学選考

修士課程・博士前期課程（9月・2月）

〈全研究科 全専攻〉

次の（１）～（９）のいずれかに該当すると共に、（１０）～（１５）までの条件を満たす者。

- （１）大学の学部を卒業した者。
- （２）大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与された者。
- （３）外国において学校教育における16年の課程を修了した者。
- （４）外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者。
- （５）我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限り）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者。
- （６）専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限り）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者。
- （７）文部科学大臣が指定した者。（昭和28年2月7日文部省告示5号）
- （８）本大学院において個別の入学資格審査により、上記（１）と同等以上の学力があると認めた者で22歳に達した者および令和6年3月31日までに達する者。
- （９）本大学院において上記（１）と同等以上の学力があると認めた者。
- （１０）**法学研究科**は、入学時において、上記（１）から（７）に該当する場合は、在学期間を除いて通算3年以上の社会人としての生活経験を有する者。上記（８）または（９）に該当する場合は、通算3年以上の社会人としての生活経験を有する者。
- （１１）**商学研究科**は、入学時において、大学卒業者は大学卒業後3年以上、（２）から（６）または、（７）から（９）の出願資格取得後3年以上経過した者、または、3年以上社会人としての生活経験を有する者。（本入学選考に出願する場合、一般入学選考に出願することはできない）
- （１２）**経済学研究科**は、入学時において大学卒業者は大学卒業後3年以上、大学院修了者は修了後3年以上、（２）から（６）または（７）から（９）の出願資格取得後3年以上社会人としての生活経験を有する者。
- （１３）**総合理工学・薬学研究科**の大学卒業者は大学卒業後2年以上、（２）から（６）または（７）から（９）の出願資格取得後2年以上、**農学・生物理工学・システム工学および産業理工学研究科**は大学卒業者は大学卒業後1年以上、（２）から（６）または（７）から（９）の出願資格取得後1年以上の在職経験がある者。
- （１４）**総合理工学・薬学・農学・生物理工学・システム工学および産業理工学研究科**は、在職している職場の長からの「推薦」がある者。

- (15) **総合文化研究科**は、入学時において大学卒業者は大学卒業後3年以上、(2)から(6)または(7)から(9)の出願資格取得後3年以上社会人として生活経験を有する者。(本入学選考に出願する場合、一般入学選考に出願することはできない)

※心理学専攻臨床心理学コースの出願者は、公認心理師の受験資格に必要とされる科目全て修得済みであることが望ましい。

- *上記(7)、(8)または(9)に該当すると思われる者は、研究科で出願資格の有無を事前に審査しますので、出願期日の2か月前 (2月期は出願期日の1か月前) までに研究科に相談し、「研究歴」「研究成果」等の審査に必要な書類を提出してください。

博士後期課程（9月・2月）

〈全研究科 全専攻〉

次の（１）～（８）のいずれかに該当すると共に、（９）の条件を満たす者。

- （１）修士の学位を有する者。
- （２）専門職学位を有する者。
- （３）外国において修士の学位に相当する学位を授与された者。
- （４）外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者。
- （５）我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者。
- （６）文部科学大臣の指定した者。（平成元年9月1日文部省告示第118号）
- （７）本大学院において個別の入学資格審査により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で24歳に達した者および令和6年3月31日までに達する者。
- （８）大学を卒業し、または外国において学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事したもので、本大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者。
- （９）入学時において、上記（１）から（５）に該当する場合大学院修了後2年以上の在職経験が、上記（６）、（７）または、（８）に該当する場合は大学卒業後または出願資格取得後4年以上の在職経験があり、かつ在職のまま入学を希望し、在職している職場の長の「推薦」があること。

*上記（６）、（７）または、（８）に該当すると思われる者は、研究科で出願資格の有無を事前に審査しますので、出願期日の2ヵ月前までに研究科に相談し、「研究歴」「研究成果」等の審査に必要な書類を提出してください。（下記〔薬学研究科を含む〕）

*〔薬学研究科〕大学の薬科学等の6年制学部を卒業し、大学・研究所等において、2年以上研究に従事した者（令和6年3月末に2年間に達する見込みの者を含む）、本大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者。

博士課程 薬学研究科 薬学専攻 (9月・1月)

次の(1)～(6)のいずれかに該当すると共に、(7)の条件を満たす者。

- (1) 大学の薬学科等の6年制学部を卒業した者。
- (2) 外国において学校教育における18年の課程（最終課程は薬学科等の6年制学部）を修了した者。
- (3) 大学（大学の薬学科等の6年制学部を履修する課程を除く）を卒業し、または外国において学校教育における16年の課程を修了した後、大学院修士課程、博士前期課程を修了した者で、本大学院において当該研究の成果等により、大学の薬学科等の6年制学部を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者。
- (4) 大学（大学の薬学科等の6年制学部を履修する課程を除く）を卒業し、または外国において学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において2年以上研究に従事した者（令和6年3月末に2年間に達する見込みの者を含む）で、本大学院において、当該研究の成果等により、大学の薬学科等の6年制学部を履修する課程を卒業したと同等以上の学力があると認めた者。
- (5) 大学の薬学科等の4年制学部を卒業し、病院・薬局等において、3年以上薬剤師として業務に従事した者（令和6年3月末に3年間に達する見込みの者を含む）で、本大学院において、当該薬剤師業務の実績等により、大学の薬学科等の6年制学部を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者。
- (6) 本大学院において上記(1)に定める学科を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、24歳に達した者および令和6年4月1日までに達する者。
- (7) 上記(1)～(6)のいずれかに該当し、さらに下記(ア)(イ)のいずれかを満たす者とする。
 - (ア) (1)～(3)に該当する場合は、2年以上の在職経験があり、
且つ在職のまま入学を希望し、在職している職場の長の「推薦」があること。
 - (イ) (4)～(6)の該当する場合は、4年以上の在職経験があり、
且つ在職のまま入学を希望し、在職している職場の長の「推薦」があること。
- (8) 臨床薬学コースの出願者は、薬剤師免許取得者または取得見込みの者に限る。
- (9) 臨床薬学コースの出願者で、臨床処方解析学特別実験研究または先端医療薬学特別実験研究または先端病院薬学特別実験研究または地域医療薬学特別実験研究または循環器薬物療法学特別実験研究を専修科目として選択する者は、連携大学院方式外部講座設置施設の在職者あるいは在職見込みの者に限る。

※なお、上記(4)～(6)に該当すると思われる者は、研究科で出願資格の有無を事前に審査しますので、研究科に相談し、「研究歴」、「研究の成果」あるいは「薬剤師業務歴」「薬剤師業務の実績」等の審査に必要な書類を提出してください。

博士課程 医学研究科 (1月・2月)

- (1) 大学の医学科、歯学科、獣医学科、薬学科（6年制）、または防衛医科大学校を卒業した者および令和6年3月卒業見込みの者。
- (2) 外国において学校教育における18年の課程（最終課程は医学、歯学、獣医学または薬学）を修了した者および令和6年3月修了見込みの者。
- (3) 大学（医学、歯学、獣医学または薬学を履修する課程を除く）を卒業し、または外国において学校教育における16年の課程を修了した後、大学院修士課程、博士前期課程あるいは大学、研究所等において2年以上研究に従事した者（令和6年3月末に2年間に達する見込みの者を含む）で、本大学院において、当該研究の成果等により、大学の医学、歯学、獣医学または薬学を履修する課程を卒業したと同等以上の学力があると認めた者。
- (4) 本大学院において上記（1）に定める学科を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、24歳に達した者および令和6年4月1日までに達する者。
- (5) 社会人入学選考については上記（1）～（4）のいずれかに該当し、さらに下記（ア）～（オ）のいずれかを満たす者とする。
 - (ア)（1）と（2）に該当する者にあつては、官公署その他民間医療機関、会社等に本大学院入学の時点で1年間以上在職し、本大学院入学後も社会人たる身分を有し、かつ所属長の出願許可を受けた者。
 - (イ)（3）に該当する者にあつては、（3）に定める2年以上の研究従事期間に加えて、官公署その他民間会社等に本大学院入学の時点で1年間以上在職し、本大学院入学後も社会人たる身分を有し、かつ所属長の出願許可を受けた者。
 - (ウ)（4）に該当する者にあつては、24歳以降で、官公署その他民間会社等に本大学院入学の時点で、1年間以上在職し、本大学院入学後も社会人たる身分を有し、かつ所属長の出願許可を受けた者。
 - (エ) 本学医学部にて初期臨床研修を行う者にあつては、研修1年間を修了見込みで、本大学院入学後もその身分を有し、かつ所属長の出願許可を受けた者。
 - (オ)（1）に該当する者のうち、本学医学部に在学中であつて、特別科目等（ART）履修生として医学研究科共通講義・演習および共通実験的または臨床的研究 A（I）の3単位以上を修得し、かつ本学病院において初期臨床研修医に採用見込みの者。

3-3 出願資格 社会人入学選考

※社会人入学選考を出願する者は、研究科で出願資格の有無を事前に審査しますので、「**出願資格審査に関わる書類**」を下記のとおり提出してください。

提出期限	1月募集：令和5年10月27日（金） 2月募集：令和5年12月15日（金）
出願資格 審査書類	(1) 履歴書（様式1） (2) 承諾書兼確認書（様式2） (3) 承諾書（様式3） (4) 研究業績に係る書類等（様式4-1、4-2）※医師の場合不要
提出先	医学部学生センター学務課

提出書類は近畿大学 医学部・大学院 医学研究科ホームページ（下記URL）からダウンロードしてください。

医学部・医学研究科

医学研究科紹介

▶ 入試情報

▶ 出願資格審査に関わる書類について

URL <https://www.kindai.ac.jp/medicine/about/>

4

選考方法

全研究科共通注意事項	44
① 法学研究科	45
② 商学研究科	48
③ 経済学研究科	51
④ 総合理工学研究科	54
⑤ 薬学研究科	59
⑥ 総合文化研究科	65
⑦ 農学研究科	68
⑧ 医学研究科	71
⑨ 生物理工学研究科	72
⑩ システム工学研究科	78
⑪ 産業理工学研究科	81

全研究科共通注意事項

● 出願時の教員名入力について ●

出願時の入力の際、「志望専修科目および指導教員名」欄は本学大学院 Web ページ(<https://www.kindai.ac.jp/graduate/for-entrance/exam/outline/>) の教員一覧（「大学院研究科概要（カリキュラム）」）を参照のうえ「選択必修科目」から指定し、担当教員名も入力してください。

● 試験当日について ●

- (1) 各入学試験におきまして、決められた試験室に試験開始 30 分前までに集合してください。
- (2) 遅刻限度時刻は、原則として試験開始 30 分後です。
ただし、やむを得ない事情によって遅刻した場合は、各学部（各キャンパス）学生センターに申し出てください。

● 試験当日における対応について ●

本学大学院では、入学試験実施に際し、公平で良好な受験環境の保持に努めますが、やむを得ず以下のような対応をとる場合があります。予めご了承ください。

- (1) 不測の事態（地震などの自然災害や火災、停電、公共交通機関の遅延、チャイムの誤作動等の設備の故障等）の発生により、試験開始時刻の繰下げや正規の試験時間を確保するための試験時間の延長、それらを理由とした休憩時間の調整などの措置をとることがあります。その場合、本学の責によらない不可抗力による事故等であることが明らかな場合は、それによって生じた受験者の負担費用、その他個人的損害について、本学はその責任を一切負いません。
- (2) 試験室内の設備（机、椅子、空調、照明、音響設備等）の違いなどは、合否判定の際、一切考慮しません。
- (3) 解答時間中に、日常的な生活騒音が発生した場合でも、特別な救済措置は行いません。

【日常的な生活騒音の具体的な事例】

- ・ 航空機、自動車などの騒音や通過する緊急自動車のサイレン等の音
- ・ 風雨や雷鳴など自然発生する騒音
- ・ 廃品回収やイベントや選挙などのアナウンスや工事の音
- ・ 動物の鳴き声
- ・ 空調機器や照明など試験会場に備える施設や設備が発する音
- ・ 周囲の受験者や試験監督者が発する咳やくしゃみ、鼻をすする音など
- ・ 携帯電話等の短時間の鳴動

*試験時間中に携帯電話などの鳴動が発生し、その発生源であるかばんなどが特定できた場合は、その持ち主の同意なしに試験監督者が試験室外に持ち出し、試験終了まで保管することがあります。

- (4) 試験時間中に、試験監督者が試験実施上必要な打合せ・指示・説明・巡回を行うことに伴って生じる音等に対する申し出には応じられません。
- (5) 特定の受験者の行為が、他の受験者に迷惑であると判断された場合は、受験の中止や別室にて受験を指示するなどの措置を講じることがあります。
- (6) その他緊急の対応を必要とする事項などにつきましては、その旨を受験票に記載し、その詳細を本学大学院のホームページに掲載します。また、試験当日の緊急連絡等については出願時に登録いただいたメールアドレスに送信する場合があります。
- (7) 入学試験はオンラインで実施する場合もあります。その際は受験する研究科から通知します。

4-① 選考方法 法学研究科

【法学研究科】博士前期課程

〈学内入学選考〉（9月・2月）

学力試験、口頭試問、学部の実績等を総合して可否を決定します。

専攻	専門科目	口頭試問
	10:30～11:30	12:30～
法学専攻	憲法、行政法、租税法、民法、商法、民事訴訟法、刑事法、刑事手続法、労働法、社会保障法、産業保健法、知的財産法、国際私法、英米法、日本法制史、政治学、行政学、公共政策のうち研究指導に関連のある科目1科目選択	主として専修科目について

(1) 専門科目については六法を貸与します。

■試験日・試験室

試験日		試験室	キャンパス
9月期	令和5年9月9日(土)	法学部 C館4階401教室	東大阪キャンパス
2月期	令和6年2月17日(土)		

〈一般入学選考〉（9月・2月）

学力試験、口頭試問等を総合して可否を決定します。

専攻	A 専門科目	B 専門科目または外国語	口頭試問
	10:30～11:30	12:30～13:30	14:00～
法学専攻	憲法、行政法、租税法、民法、商法、民事訴訟法、刑事法、刑事手続法、労働法、社会保障法、産業保健法、知的財産法、国際私法、英米法、日本法制史、政治学、行政学、公共政策のうち研究指導に関連のある科目1科目選択	憲法、行政法、租税法、民法、商法、民事訴訟法、刑事法、刑事手続法、労働法、社会保障法、産業保健法、知的財産法、国際私法、英米法、日本法制史、政治学、行政学、公共政策、外国語（英語・独語・仏語）の中から1科目選択 ただし、すでに「A 専門科目」の中から選択した科目を除く	主として 専修科目について

(1) 専門科目については六法を貸与します。

(2) 外国語科目については辞書1冊に限り持ち込みを認めます。（ただし、電子辞書は不可）

(3) 学力試験の「A 専門科目」と「B 専門科目または外国語」の配点比率は3:2とします。

次ページに続く

■試験日・試験室

試験日		試験室	キャンパス
9月期	令和5年9月9日(土)	法学部 C館4階401教室	東大阪キャンパス
2月期	令和6年2月17日(土)		

■インターネット出願入力時の注意事項

- 1.「受験科目(専門科目(1))」欄には、「A 専門科目」の中から志望専修科目1科目を最初に入力してください。
- 2.「B 専門科目または外国語」の中から専門科目を選択する場合は、「(専門科目(2))」欄に入力してください。
その際、「A 専門科目」で選択した科目の後に、それを入力してください。
- 3.「B 専門科目または外国語」の中から外国語を選択する場合は、「(外国語(1))」欄に入力してください。

〈社会人入学選考〉(9月・2月)

研究計画書、学力試験、口頭試問を総合して合否を決定します。

専攻	専門科目	口頭試問
	10:30～11:30	12:30～
法律学専攻	憲法、行政法、租税法、民法、商法、民事訴訟法、刑事法、刑事手続法、労働法、社会保障法、産業保健法、知的財産法、国際私法、英米法、日本法制史、政治学、行政学、公共政策のうち研究指導に関連のある科目1科目選択	主として「研究計画書」について

- (1) 志望専修科目に関する「研究計画書」(800～1100字・所定の用紙)を出願時に提出する。(P19参照のこと)
- (2) 専門科目については六法を貸与します。

■試験日・試験室

試験日		試験室	キャンパス
9月期	令和5年9月9日(土)	法学部 C館4階401教室	東大阪キャンパス
2月期	令和6年2月17日(土)		

【法学研究科】博士後期課程

〈一般入学選考〉(2月)

学力試験、口頭試問(修士論文および研究計画書)等の結果を総合して合否を決定します。

専攻	外国語	専門科目(口頭試問)
	10:30～12:00	13:30～
法学専攻	外国語A(英語)および 外国語B(英語、独語、仏語から1言語選択) の2科目必答	修士論文および研究計画書を中心として

- (1) 外国語科目については、各言語辞書1冊に限り持ち込みを認めます。(ただし、電子辞書は不可)
 (2) 博士前期課程に社会人入試で入学した者に対する特別措置として、修士論文が優秀で且つ指導教員の推薦がある場合には、外国語を試験科目から外し、口頭試問(修士論文および研究計画書を中心として)のみを試験科目とします。
 (3) 学力試験の「外国語A」と「外国語B」の配点比率は3:2とします。

■試験日・試験室

試験日	試験室	キャンパス
令和6年2月17日(土)	法学部C館1階111教室	東大阪キャンパス

■インターネット出願入力時の注意事項

1. 「受験科目」(外国語)欄には、外国語2科目を入力してください。
 2. 博士前期課程に社会人入試で入学した者で、特別措置として指導教員の推薦がある者は、「受験科目」(外国語(1))(外国語(2))欄の両方に特別措置と入力してください。

〈社会人入学選考〉(2月)

口頭試問、出願時に提出した修士論文または「研究報告書」(3000字～4000字・書式自由)、「研究計画書」等を総合的に判断して、合否を決定します。志望専修科目に関する「研究計画書」(1200字～3000字・書式自由)も出願時に提出してください。(P21、39参照のこと。)

専攻	口頭試問
法学専攻	10:00～

■試験日・試験室

試験日	試験室	キャンパス
令和6年2月17日(土)	法学部C館1階112教室	東大阪キャンパス

4-2 選考方法 商学研究科

【商学研究科】博士前期課程

出願前に必ず志望する演習（専修科目）教員または学生センターに相談してください。

〈学内入学選考〉（9月）

学力試験、口頭試問、学部の成績等を総合して合否を決定します。

専攻	外国語	口頭試問
	10:30～11:30	11:45～
商学専攻	英語 (TOEIC等のスコア未提出者)	主として専修科目について

- (1) 外国語の評価にTOEIC等のスコアを利用します。11時15分に経営学部 会計学科学習相談室（21号館7階）に集合し、口頭試問時に必ずスコア原本を持参してください。ただし、スコア未提出者に限り外国語の筆記で評価します。
- (2) 外国語科目については辞書1冊の持ち込みを認めます。（ただし電子辞書は不可）
- (3) 外国人留学生の外国語試験については、辞書（たとえば英和・和英または母語と日本語を対照した辞書）2冊以内に限り持ち込みを認めます。（ただし、電子辞書は不可）
- (4) 志望する演習で計画する「研究題目」および「研究計画書」（500～1200字程度・書式自由）を出願時に提出してください。

■試験日・試験室

試験日	試験室	キャンパス
令和5年9月9日（土）	経営学部 大学院演習室1（21号館7階）	東大阪キャンパス

〈一般入学選考〉（9月・2月）

学力試験、口頭試問の結果を総合して合否を決定します。

専攻	外国語	専門科目	口頭試問
	10:30～11:30	12:30～14:30	14:45～
商学専攻	英語 (TOEIC等のスコア未提出者)	商学、経営学、会計学、ITビジネス、キャリア・マネジメント学、スポーツマネジメントの中から2科目選択	主として専修科目について

- (1) 外国語の評価にTOEIC等のスコアを利用します。12時に経営学部 会計学科学習相談室（21号館7階）に集合し、口頭試問時に必ずスコア原本を持参してください。ただし、スコア未提出者に限り外国語の筆記で評価します。
- (2) 外国語科目については辞書1冊の持ち込みを認めます。（ただし電子辞書は不可）
- (3) 外国人留学生の外国語試験については、辞書（たとえば英和・和英または母語と日本語を対照した辞書）2冊以内に限り持ち込みを認めます。（ただし、電子辞書は不可）
- (4) 志望する演習で計画する「研究題目」および「研究計画書」（500～1200字程度・書式自由）を出願時に提出してください。

■試験日・試験室

	試験日	試験室	キャンパス
9月期	令和5年9月9日（土）	経営学部 大学院演習室1 （21号館7階）	東大阪キャンパス
2月期	令和6年2月17日（土）		

■インターネット出願入力時の注意事項

1. 会計学関係を志望する場合のみ、志望専修科目を第2志望まで入力してください。
2. 専門科目2科目は試験場で自由に選択できます。

〈社会人入学選考〉(9月・2月)

研究計画書、当日の試験結果、口頭試問の結果等を総合して可否を判定します。

専攻	論述試験	口頭試問
商学専攻	10:30～11:30	11:45～

- (1) 志望する演習で計画する「研究題目」および「研究計画書」(500～1200字程度・書式自由)を出願時に提出してください。

■試験日・試験室

試験日		試験室	キャンパス
9月期	令和5年9月9日(土)	経営学部 大学院演習室3 (21号館7階)	東大阪キャンパス
2月期	令和6年2月17日(土)		

■インターネット出願入力時の注意事項

会計学関係を志望する場合のみ、志望専修科目を第2志望まで記入してください。

【商学研究科】博士後期課程

出願前に必ず志望する演習（専修科目）教員または学生センターに相談してください。

〈一般入学選考〉（9月・2月）

学力試験、口頭試問等の結果を総合して可否を決定します。

専攻	外国語	専門科目（筆記）	専門科目（口頭試問）
	10：00～11：30	12：30～13：30	13：45～
商学専攻	英語A、英語B	専修科目について	専修科目について

- (1) 志望する演習（専修科目）で計画する「研究題目」および「研究計画書」（1200字～3000字・書式自由）を出願時に提出してください。
- (2) 商学研究科博士前期課程修了および修了予定の志願者については、外国語科目を免除します。

■試験日・試験室

試験日		試験室	キャンパス
9月期	令和5年9月9日（土）	経営学部 大学院演習室2 （21号館7階）	東大阪キャンパス
2月期	令和6年2月17日（土）		

■インターネット出願入力時の注意事項

1. 「受験科目」（専門科目）欄には専門科目1科目を入力してください。
2. 外国人留学生（日本の大学院修士課程もしくは博士前期課程修了見込・修了者）については、「外国語」の受験科目は日本語、英語Aの2科目とします。
試験開始時に「英和辞典」を貸与します。

〈社会人入学選考〉（9月・2月）

専修科目に関する論述試験、出願時に提出した「研究報告書」または「研究計画書」に関する口頭試問および「推薦書」等総合的に判断して、可否を決定します。

専攻	論述試験	口頭試問
商学専攻	10：30～11：30	11：45～

- (1) 志望する演習（専修科目）で計画する「研究題目」および「研究計画書」（1200字～3000字・書式自由）を出願時に提出してください。

■試験日・試験室

試験日		試験室	キャンパス
9月期	令和5年9月9日（土）	経営学部 大学院演習室3 （21号館7階）	東大阪キャンパス
2月期	令和6年2月17日（土）		

4-③ 選考方法 経済学研究科

【経済学研究科】博士前期課程

経済学研究科 博士前期課程を希望する場合は、出願入力をする前に教員又は学生センターへ事前相談をしてください。

〈学内入学選考〉（9月）

学力試験（外国語）、口頭試問、学部の実績等を総合して可否を決定します。

専攻	外国語	口頭試問
		15:00～
経済学専攻	英語 （各種検定等のスコアを提出）	主として 専修科目について

- 外国語の評価については、研究科が指定する各種検定等のスコアを利用します。なお、利用する各種検定等は、原則として出願締切日から起算し、過去2年以内に受験したものに限り、出願時に必ず各種協会等が発行する成績証明書等を提出してください。
- 志望する演習（専修科目）で計画する「研究題目」および「研究計画書」（1000～1500字程度・書式自由）を出願時に提出してください。（P.19参照のこと）

■試験日・試験室

試験日	試験室	キャンパス
令和5年9月9日（土）	経済学部 B館4階405演習室	東大阪キャンパス

■インターネット出願入力時の注意事項

- 「志望研究科・専攻」欄の所定欄に入学志望コース「昼間コース」を選択してください。
- 志望専修科目を第2志望まで入力してください。

〈一般入学選考〉（9月・2月）

学力試験、口頭試問等の結果を総合して可否を決定します。

専攻	外国語	専門科目	口頭試問
		12:30～14:30	15:00～
経済学専攻	英語 （各種検定等のスコアを提出）	下記の7科目の中から、2科目を選択 ミクロ経済学、マクロ経済学、経済史、 経済政策、財政学、金融論、国際経済学	主として 専修科目について

- 外国語の評価については、研究科が指定する各種検定等のスコアを利用します。なお、利用する各種検定等は、原則として出願締切日から起算し、過去2年以内に受験したものに限り、出願時に必ず各種協会等が発行する成績証明書等を提出してください。
- 志望する演習（専修科目）で計画する「研究題目」および「研究計画書」（1000～1500字程度・書式自由）を出願時に提出してください。（P.19参照のこと）

次ページに続く

■試験日・試験室

試験日		試験室	キャンパス
9月期	令和5年9月9日(土)	経済学部 B館4階405演習室	東大阪キャンパス
2月期	令和6年2月17日(土)		

■インターネット出願入力時の注意事項

- 1.「志望研究科・専攻」欄の所定欄に志望コース「昼間コース」を選択してください。
- 2.志望専修科目を第2志望まで入力してください。

〈社会人入学選考〉(9月・2月)

研究計画書、当日の試験結果、口頭試問の結果等を総合して合否を判定します。

専攻	論述試験	口頭試問
経済学専攻	10:00～11:00	11:30～

志望する演習で計画する「研究題目」および「研究計画書」(1000～1500字程度・書式自由)を出願時に提出してください。(P19参照のこと)

出願受付締切後、志望する演習(専修科目)に関連する研究課題を提示(本人宛に郵送)します。

試験当日、この研究課題に関連した問題を出題します。(論述試験)

■試験日・試験室

試験日		試験室	キャンパス
9月期	令和5年9月9日(土)	経済学部 B館4階405演習室	東大阪キャンパス
2月期	令和6年2月17日(土)		

■インターネット出願入力時の注意事項

- 「志望研究科・専攻」欄に志望するコースが昼間コースか夜間主コースかを選択してください。
- 志望専修科目を第2志望まで入力してください。

【経済学研究科】博士後期課程

経済学研究科 博士後期課程を希望する場合は、出願入力をする前に教員又は学生センターへ事前相談をしてください。

〈一般入学選考〉(2月)

学力試験、口頭試問等の結果を総合して合否を決定します。

専 攻	外国語	専門科目(筆記)	専門科目(口頭試問)
	10:00～12:30	13:30～14:30	15:00～
経済学専攻	英語A、英語B	専修科目について	専修科目について

- (1)「英語A」は基本的な読解力を求めます。「英語B」は量的・質的に精選された問題の大意要約、部分訳を求めます。
(2)外国人留学生(日本の大学院修士課程もしくは博士前期課程修了見込・修了者)の受験者については、「外国語」受験科目は日本語および英語Aの2科目とします。
試験開始時に「英和辞典」を貸与します。

■試験日・試験室

試験日	試験室	キャンパス
令和6年2月17日(土)	経済学部 B館4階406演習室	東大阪キャンパス

■インターネット出願入力時の注意事項

- 「受験科目」の(専門科目)欄には志望する専門科目名を記入してください。
(たとえば、「理論経済学特殊研究」など)
- 外国人留学生(日本の大学院修士課程もしくは博士前期課程修了見込・修了者)については、「外国語」の受験科目は日本語、英語Aの2科目とします。
試験開始時に「英和辞典」を貸与します。

4-4 選考方法 総合理工学研究科

【総合理工学研究科】博士前期課程

総合理工学研究科 博士前期課程を希望する場合は、出願入力をする前に教員又は学生センターへ事前相談をしてください。

〈学内入学選考〉（9月）

学力試験、口頭試問、学部の成績等を総合して可否を決定します。

専攻	外国語	口頭試問
	11：00～12：00	13：00～
理学専攻	英 語	主として志望する専修科目について (専攻ごと)
物質系工学専攻		
メカニックス系 工学専攻		
エレクトロニクス系 工学専攻		
環境系工学専攻		
建築デザイン専攻		

(1) 理学専攻以外は外国語の評価に TOEIC 等のスコアを利用するため、外国語の試験は実施しません。

12時30分に試験室に集合し、口頭試問時に必ずスコア原本を持参してください。

(2) 外国語については辞書2冊以内に限り持ち込みを認めます。(ただし、電子辞書は不可)

(3) 理学専攻の遺伝カウンセラー養成課程の志望者は受験前に説明会への参加が必要となります。

■試験日・試験室

試験日	試験室	キャンパス
令和5年9月9日(土)	17号館1階102教室	東大阪キャンパス

(1) 理学専攻の外国語試験は17号館1階103教室で実施。

(2) 建築デザイン専攻は33号館4階403教室へ集合。

■インターネット出願入力時の注意事項

理学専攻内に設置されている遺伝カウンセラー養成課程の志望者は志望情報入力画面の「遺伝カウンセラー養成課程志望」で「志望する」を選択してください。

(注意) インターネット出願時に遺伝カウンセラー養成課程志望を選択せず受験した者は、たとえ理学専攻に入学しても同課程を修めることはできません。

〈一般入学選考〉(9月)

学力試験、口頭試問等の結果を総合して合否を決定します。

専攻	外国語	専攻の基礎科目	口頭試問
	11:00～12:00	13:00～14:00	14:30～
理学専攻	英 語	数学、物理学、化学、生物学の4科目のうちから1科目選択	主として志望する専修科目について(専攻ごと)
物質系工学専攻		物理化学、無機化学、有機化学の3科目のうちから1科目選択	
メカニクス系工学専攻		数学、物理学の2科目のうちから1科目選択	
エレクトロニクス系工学専攻		数学、物理学、電磁気学、電気回路論、コンピュータシステム、ソフトウェア(Javaプログラミングを含む)の6科目から1科目選択	
環境系工学専攻		構造工学、計画学、環境工学、材料工学の4科目のうちから1科目選択	

- (1) 理学専攻以外は外国語の評価にTOEIC等のスコアを利用するため、外国語の試験は実施しません。12時30分に試験室に集合し、口頭試問時に必ずスコア原本を持参してください。
- (2) 外国語については辞書2冊以内に限り持ち込みを認めます。(ただし、電子辞書は不可)
- (3) 専攻の基礎科目については選択する1科目を指定し、出願時に受験科目名を入力の上、受験してください。
- (4) 専攻の基礎科目(物質系工学専攻・環境系工学専攻)については関数電卓の持ち込みを認めます。
- (5) 理学専攻の遺伝カウンセラー養成課程の志望者は受験前に説明会への参加が必要となります。また、「専攻の基礎科目」として生物学を指定します。

専攻	第1次選考	第2次選考
東大阪モノづくり専攻	書類選考	実技試験および口頭試問・口述試験

- (1) 志願者は、必ず理工学部学生センター大学院入試係に問い合わせの上、2ヵ月前から出願開始日までに専攻教員のガイダンスを受けてから出願してください。
- (2) 出願書類は、P19～20をご覧ください。(第1次選考として、小論文があります)
- (3) 検定料は、第1次選考は12,000円、第2次選考は20,000円となります。
- (4) 受験票が第2次選考日の2日前までに未着の場合は、下記へお問い合わせください。

【問い合わせ先】理工学部学生センター大学院入試係

専攻	外国語	専門科目Ⅰ	専門科目Ⅱ	口頭試問
		11:00～12:00	13:00～17:00	17:30～
建築デザイン専攻		計画学	建築設計	主として志望する専修科目について

- (1) 外国語の評価にTOEIC等のスコアを利用するため、外国語の試験は実施しません。口頭試問時に必ずスコア原本を持参してください。
- (2) 専門科目Ⅱは即日設計を行います(試験当日は製図道具一式を持参すること)。

〈一般入学選考〉(2月)

学力試験、口頭試問等の結果を総合して合否を決定します。

専攻	外国語	専攻の基礎科目	口頭試問
	11:00～12:00	13:00～14:00	14:30～
理学専攻	英語	数学、物理学、化学、生物学の4科目のうちから1科目選択	主として志望する専修科目について(専攻ごと)
物質系工学専攻	英語 (TOEIC等のスコア未提出者)	物理化学、無機化学、有機化学の3科目のうちから1科目選択	
メカニクス系工学専攻		数学、物理学の2科目のうちから1科目選択	
エレクトロニクス系工学専攻		数学、物理学、電磁気学、電気回路論、コンピューターシステム、ソフトウェア(Javaプログラミング含む)の6科目から1科目選択	
環境系工学専攻		構造工学、計画学、環境工学、材料工学の4科目のうちから1科目選択	

- (1) 理学専攻以外は外国語の評価にTOEIC等のスコアを利用します。12時30分に試験室に集合し、口頭試問時に必ずスコア原本を持参してください。ただし、スコア未提出者に限り外国語の筆記で評価します。
- (2) 外国語については辞書2冊以内に限り持ち込みを認めます。(ただし、電子辞書不可)
- (3) 専攻の基礎科目については選択する1科目を指定し、出願時に志願票に記入のうえ、受験してください。
- (4) 専攻の基礎科目(物質系工学専攻・環境系工学専攻)については関数電卓の持ち込みを認めます。
- (5) 理学科専攻の遺伝カウンセラー養成課程の志望者は受験前に説明会への参加が必要となります。また、「専攻の基礎科目」として生物学を指定します。

専攻	第1次選考	第2次選考
東大阪モノづくり専攻	書類選考	実技試験および口頭試問・口述試験

- (1) 志願者は、必ず理工学部学生センター大学院入試係に問い合わせのうえ、出願期間の1ヵ月前までに専攻教員のガイダンスを受けてから出願してください。
- (2) 出願書類は、P19～20をご覧ください。(第1次選考として、小論文があります)
- (3) 検定料は、第1次選考は12,000円、第2次選考は20,000円となります。
- (4) 受験票が第2次選考日の2日前までに未着の場合は、下記へお問い合わせください。

【問い合わせ先】理工学部学生センター大学院入試係

専攻	専門科目Ⅰ	外国語	専門科目Ⅱ	口頭試問
	9:30～10:30	11:00～12:00	13:00～17:00	17:30～
建築デザイン専攻	計画学	英語 (TOEIC等のスコア未提出者)	建築設計	主として志望する専修科目について

- (1) 外国語の評価にTOEIC等のスコアを利用するため、外国語の試験は実施しません。口頭試問時に必ずスコア原本を持参してください。ただし、スコア未提出者に限り、外国語の筆記試験で評価します。
- (2) 専門科目Ⅱは即日設計を行います(試験当日は製図道具一式を持参すること)。

■試験日・試験室

試験日		試験室	キャンパス
9月期	令和5年9月9日(土)	17号館1階103教室	東大阪キャンパス
2月期	令和6年2月17日(土)		

■インターネット出願入力時の注意事項

- 1.「受験科目」（専門科目）欄には専攻の基礎科目から選択する1科目を入力してください。
- 2.理学専攻内に設置されている遺伝カウンセラー養成課程の志望者は志望情報入力画面の「遺伝カウンセラー養成課程志望」で「志望する」を選択してください。
また、受験科目（専門科目）欄に生物学と入力してください。
(注意)出願時に遺伝カウンセラー養成課程志望を選択せず受験した場合は、たとえ理学専攻に入学しても同課程を修めることはできません。

〈社会人入学選考〉（9月・2月）

専修科目に関する口頭試問、出願時に提出した「修士論文および学会発表等の論文別冊」または「研究経過報告書」および「推薦書」等を総合的に判断して、可否を判定します。

専 攻	口頭試問
	11:00～
理学専攻※	主として志望する専修科目について（専攻ごと）
物質系工学専攻	
メカニクス系工学専攻	
エレクトロニクス系工学専攻	
環境系工学専攻	

- (1) 出願前に理工学部学生センター大学院入試係へ連絡してください。
- (2) ※理学専攻内に設置されている遺伝カウンセラー養成課程の募集はいたしません。

■試験日・試験室

試験日		試験室	キャンパス
9月期	令和5年9月9日（土）	17号館1階104教室	東大阪キャンパス
2月期	令和6年2月17日（土）		

【総合理工学研究科】博士後期課程

総合理工学研究科 博士後期課程を希望する場合は、出願入力をする前に教員又は学生センターへ事前相談をしてください。

〈一般入学選考〉（9月・2月）

専修科目に関する口頭試問、出題時に提出した「修士論文および学会発表等の論文別冊」または「研究経過報告書」等を総合的に判断して、可否を判定します。

専 攻	口頭試問
	11:00～
理学専攻	主として志望する専修科目について（専攻ごと）
物質系工学専攻	
メカニクス系工学専攻	
エレクトロニクス系工学専攻	
環境系工学専攻	

- (1) 出願前に理工学部学生センター大学院入試係へ連絡してください。

次ページに続く

■試験日・試験室

試験日		試験室	キャンパス
9月期	令和5年9月9日(土)	17号館1階104教室	東大阪キャンパス
2月期	令和6年2月17日(土)		

東大阪モノづくり専攻

- (1) 志願者は、必ず理工学部学生センター大学院入試係に問い合わせのうえ、1ヵ月前から出願期間日までに専攻教員のガイダンスを受けてから出願してください。
- (2) 試験の開始時刻・集合場所については、出願書類を受理後に郵送いたします。
- (3) 出願書類は、P21をご覧ください。
- (4) 検定料は、32,000円となります。
- (5) 受験票が試験日の2日前までに未着の場合は、下記へお問い合わせください。
- 【問い合わせ先】理工学部学生センター大学院入試係

〈社会人入学選考〉(9月・2月)

専修科目に関する口頭試問、出願時に提出した「研究報告書」または「研究計画書」に関する口頭試問および「推薦書」等を総合的に判断して、可否を決定します。

専攻	口頭試問
	11:00～
理学専攻※	主として志望する専修科目について(専攻ごと)
物質系工学専攻	
メカニクス系工学専攻	
エレクトロニクス系工学専攻	
環境系工学専攻	

- (1) 出願前に理工学部学生センター大学院入試係へ連絡してください。
- (2) ※理学専攻内に設置されている遺伝カウンセラー養成課程の募集はいたしません。

■試験日・試験室

試験日		試験室	キャンパス
9月期	令和5年9月9日(土)	17号館1階104教室	東大阪キャンパス
2月期	令和6年2月17日(土)		

4-5 選考方法 薬学研究科

【薬学研究科 薬科学専攻】博士前期課程

〈学内入学選考〉（9月）

学力試験、口頭試問、学部の成績等を総合して可否を決定します。

専攻	口頭試問	外国語
	10:00～	11:00～12:30
薬科学専攻	主として専修科目あるいは専修分野について	英語

(1) 出願前に薬学部学生センター大学院入試係へ連絡してください。

■試験日・試験室

試験日	試験室	キャンパス
令和5年9月9日（土）	薬学部 39号館4階401演習室	東大阪キャンパス

■インターネット出願入力時の注意事項

1. 生命薬科学コースを志望する場合は「志望専攻分野」欄に志望する分野名も合わせて明記してください。
2. 生命薬科学コースの社会医療薬科学系の3分野（臨床薬剤情報学、医薬品評価解析学、医療薬剤学）の修学には、薬剤師免許が必要要件であるため、同分野の出願は薬剤師免許取得者および取得見込み者に限ります。

〈一般入学選考〉（9月・2月）

専攻	口頭試問	外国語	専門科目
	10:00～	11:00～12:30	13:30～15:00
薬科学専攻	主として専修科目あるいは専修分野について	英語	創薬科学コース： 天然活性物質学、薬用資源学、医薬品化学、創薬分子設計学、分子医療・ゲノム創薬学、薬品分析学の6科目のうちから第一志望の専修科目1つを選択 生命薬科学コース： 機能性分子化学系、分子生命薬科学系、薬効薬物動態解析学系、社会医療薬科学系の4科目12分野（※）のうちから第一志望の専修科目・分野1つを選択

(1) 出願前に薬学部学生センター大学院入試係へ連絡してください。

※研究科概要を参照してください。

次ページに続く

■試験日・試験室

試験日		試験室	キャンパス
9月期	令和5年9月9日(土)	薬学部 39号館4階401演習室	東大阪キャンパス
2月期	令和6年2月17日(土)	薬学部 39号館4階401演習室	

■インターネット出願入力時の注意事項

1. 生命薬科学コースを志望する場合は「志望専攻分野」欄に志望する分野名も合わせて明記してください。
2. 生命薬科学コースの社会医療薬科学系の3分野（臨床薬剤情報学、医薬品評価解析学、医療薬剤学）の修学には、薬剤師免許が必要要件であるため、同分野の出願は薬剤師免許取得者または取得見込み者に限ります。

〈社会人入学選考〉(9月・2月)

専攻	口頭試問
	10:00～
薬科学専攻	主として志望する専修科目あるいは専修分野について

- (1) 出願前に薬学部学生センター大学院入試係へ連絡してください。
- (2) 専修科目に関する口頭試問、出願時に提出した「研究報告書」または「研究計画書」に関する口頭試問および「推薦書」等を総合的に判断して、可否を判定します。

■募集する研究科および試験日・試験室

試験日		試験室	キャンパス
9月期	令和5年9月9日(土)	薬学部 39号館4階402演習室	東大阪キャンパス
2月期	令和6年2月17日(土)	薬学部 39号館4階402演習室	

■インターネット出願入力時の注意事項

1. 生命薬科学コースを志望する場合は「志望専攻分野」欄に志望する分野名も合わせて明記してください。
2. 生命薬科学コースの社会医療薬科学系の3分野（医薬品情報学、社会薬学、医療薬剤学）の修学には、薬剤師免許が必要要件であるため、同分野の出願者は薬剤師免許取得者または取得見込みの者に限ります。

【薬学研究科 薬科学専攻】博士後期課程

〈学内入学選考〉（9月）

口頭試問等の結果を総合して合否を決定します。

専攻	専門科目（口頭試問）
	10：00～
薬科学専攻	研究経過報告書について

（1）出願前に薬学部学生センター大学院入試係へ連絡してください。

■試験日・試験室

試験日	試験室	キャンパス
令和5年9月9日（土）	薬学部 39号館4階402演習室	東大阪キャンパス

〈一般入学選考〉（9月・2月）

学力試験、口頭試問等の結果を総合して合否を決定します。

専攻	口頭試問	外国語
	10：00～	11：00～13：00
薬科学専攻	修士論文についてスライドを用いたプレゼンテーション （9月期は研究経過報告書についても可）	英語

（1）出願前に薬学部学生センター大学院入試係へ連絡してください。

■試験日・試験室

試験日		試験室	キャンパス
9月期	令和5年9月9日（土）	薬学部 39号館4階401演習室	東大阪キャンパス
2月期	令和6年2月17日（土）	薬学部 39号館4階401演習室	

〈社会人入学選考〉（9月・2月）

専修科目に関する口頭試問、出願時に提出した「研究報告書」または「研究計画書」に関する口頭試問および「推薦書」等総合的に判断して、可否を決定します。

専攻	口頭試問
	10:00～
薬科学専攻	主として志望する専修科目について スライドを用いたプレゼンテーション

(1) 出願前に薬学部学生センター大学院入試係へ連絡してください。

■試験日・試験室

試験日		試験室	キャンパス
9月期	令和5年9月9日(土)	薬学部 39号館4階402演習室	東大阪キャンパス
2月期	令和6年2月17日(土)	薬学部 39号館4階402演習室	

【薬学研究科 薬学専攻】博士課程

〈学内入学選考〉（9月）

口頭試問等の結果を総合して合否を決定します。

専攻	専門科目（口頭試問）
	10：00～
薬学専攻	主として専修科目あるいは専修分野について

（1）出願前に薬学部学生センター大学院入試係へ連絡してください。

■試験日・試験室

試験日	試験室	キャンパス
令和5年9月9日（土）	薬学部 39号館4階402演習室	東大阪キャンパス

〈一般入学選考〉（9月・1月）

学力試験、口頭試問等の結果を総合して合否を決定します。

専攻	専門科目（口頭試問）	外国語
	10：00～	11：00～13：00
薬学専攻	卒業論文または修士論文（卒業・修了見込みの者は研究経過報告書）について、スライドを用いたプレゼンテーション（※1月期を受験する6年制薬学部を卒業見込みの者については、主として専修科目あるいは専修分野について口頭試問）	英語

（1）出願前に薬学部学生センター大学院入試係へ連絡してください。

（2）臨床医療薬学系連携講座志願者は各連携施設担当者による口頭試問を併せて実施します。

■試験日・試験室

試験日		試験室	キャンパス
9月期	令和5年9月9日（土）	薬学部 39号館4階401演習室	東大阪キャンパス
1月期	令和6年1月6日（土）	薬学部 39号館4階401演習室	

〈社会人入学選考〉（9月・1月）

口頭試問等の結果を総合して合否を決定します。

専攻	口頭試問
	10:00～
薬学専攻	主として志望する専修科目について、スライドを用いたプレゼンテーション

(1) 出願前に薬学部学生センター大学院入試係へ連絡してください。

■試験日・試験室

試験日		試験室	キャンパス
9月期	令和5年9月9日(土)	薬学部 39号館4階402演習室	東大阪キャンパス
1月期	令和6年1月6日(土)	薬学部 39号館4階402演習室	

4-6 選考方法 総合文化研究科

【総合文化研究科】修士課程

〈学内入学選考〉（9月）

学力試験、口頭試問、学部の成績等を総合して可否を決定します。

専攻	専門科目	口頭試問
	13:00～14:00	14:30～
日本文学専攻	各コースの専門分野に関する論述試験	主として「研究計画書」について
英語英米文学専攻		
文化・社会学専攻		
心理学専攻		

（1）専門科目について

- ・専門科目については、辞書の使用は認めません。
- ・英語英米文学専攻では、「英語」の語学力試験と専門分野に関する試験をします。

■試験日・試験室

試験日	試験室	キャンパス
令和5年9月9日（土）	文芸学部 A館1階102教室	東大阪キャンパス

〈一般入学選考〉（9月・2月）

学力試験、口頭試問を総合して可否を決定します。

専攻	専門科目	外国語	口頭試問
	10:00～12:00	13:00～14:00	14:30～
日本文学専攻	各コースの専門分野に関する論述試験	英語 (外国人留学生のみ「日本語」選択可)	主として「研究計画書」について
英語英米文学専攻		英語・仏語・独語・中国語のうち 1科目選択	
文化・社会学専攻		英語・仏語・独語・中国語のうち 1科目選択（歴史学コースのみ 「古典日本語（古文書）」可）	
心理学専攻		英語 (英語を母国語とする 外国人留学生のみ「日本語」選択可)	

次ページに続く

4-6 選考方法 総合文化研究科

(1) 専門科目について

- 専門科目については、辞書の使用を認めません。
- 英語英米文学専攻では、「英語」の語学力試験と専門分野に関する試験をします。

(2) 外国語について

専攻	コース	外国語	辞書の持ち込み
日本文学専攻	言語・文学コース 創作・批評コース	英語	可
		日本語（外国人留学生のみ）	
英語英米文学専攻	—	英語	不可
		仏語・独語・中国語	可
文化・社会学専攻	歴史学コース	英語	不可
		仏語・独語・中国語	可
		古典日本語（古文書）	不可
	現代文化学コース 社会学コース 都市学コース	英語	不可
		仏語・独語・中国語	可
心理学専攻	心理学コース 臨床心理学コース	英語	不可
		日本語 （「英語を母国語とする外国人留学生のみ」）	

- 辞書の持ち込みが認められている科目については、辞書1冊に限り持ち込みを認めます。（ただし、電子辞書は不可）
- 外国人留学生は、母国語以外の言語を選択してください。

■試験日・試験室

試験日		試験室	キャンパス
9月期	令和5年9月9日（土）	文芸学部 A館1階102教室	東大阪キャンパス
2月期	令和6年2月17日（土）		

■インターネット出願入力時の注意事項

1. 「受験科目」（外国語）欄には、選択する外国語1科目を入力してください。

〈社会人入学選考〉（9月・2月）

研究計画書、学力試験、口頭試問を総合して合否を決定します。

専攻	専門科目	口頭試問
	13:00～14:00	14:30～
日本文学専攻	各コースの専門分野に関する論述試験	主として「研究計画書」について
英語英米文学専攻		
文化・社会学専攻		
心理学専攻		

（1）専門科目について

- 専門科目については、辞書の使用を認めません。
- 英語英米文学専攻では、「英語」の語学力試験と専門分野に関する試験をします。

■試験日・試験室

試験日		試験室	キャンパス
9月期	令和5年9月9日（土）	文芸学部 A館1階102教室	東大阪キャンパス
2月期	令和6年2月17日（土）		

4-7 選考方法 農学研究科

【農学研究科】博士前期課程

〈学内入学選考〉（9月・2月）

学力試験、口頭試問、学部の成績等を総合して合否を決定します。

専攻	外国語	口頭試問
	10:00～11:30	13:30～
農業生産科学専攻	英 語	主として専修科目について (専攻ごと)
水産学専攻		
応用生命化学専攻		
環境管理学専攻		
バイオサイエンス専攻		

■試験日・試験室

試験日		試験室	キャンパス
9月期	令和5年9月9日(土)	農学部 211教室	奈良キャンパス
2月期	令和6年2月17日(土)		

〈一般入学選考〉（9月・2月）

学力試験、口頭試問等の結果を総合して可否を決定します。

専攻	外国語	専攻の基礎科目	口頭試問
	10:00～11:30	12:30～14:00	14:30～
農業生産科学専攻	英語	作物学、育種学、園芸植物学、植物感染制御工学、昆虫学、農業経営経済学、花卉園芸学のうち、志望する専攻分野の科目から1科目	主として志望する専修科目について（専攻ごと）
水産学専攻		水産増殖学、水産生物学、漁業生産システム、水族環境学、水産利用学のうち、志望する専攻分野の科目から1科目選択	
応用生命化学専攻		応用微生物学、食品微生物工学、応用細胞生物学、生物制御化学、生命資源化学、森林生物化学、食品機能学のうち、志望する専攻分野の科目から1科目選択	
環境管理学専攻		水圏生態学、生態系管理学、環境化学、自然資源管理学、環境政策学のうち、志望する専攻分野の科目から1科目選択	
バイオサイエンス専攻		生体機能科学、分子機能化学のうち、志望する専攻分野の科目から1科目選択	

■試験日・試験室

試験日		試験室	キャンパス
9月期	令和5年9月9日（土）	農学部 211教室	奈良キャンパス
2月期	令和6年2月17日（土）		

〈社会人入学選考〉（9月・2月）

専修科目に関する口頭試問、出願時に提出した「研究報告書」または「研究計画書」に関する口頭試問および「推薦書」等を総合的に判断して、可否を判定します。

専攻	口頭試問
	10:00～
全専攻	主として志望する専修科目について（専攻ごと）

■試験日・試験室

試験日		試験室	キャンパス
9月期	令和5年9月9日（土）	農学部 215教室	奈良キャンパス
2月期	令和6年2月17日（土）		

【農学研究科】博士後期課程

〈一般入学選考〉（9月・2月）

学力試験、口頭試問等の結果を総合して可否を決定します。

専攻	口頭試問	
	10:00～	
農業生産科学専攻	主として志望する専修科目について（専攻ごと）	
水産学専攻		
応用生命化学専攻		
環境管理学専攻		
バイオサイエンス専攻		

■試験日・試験室

試験日		試験室	キャンパス
9月期	令和5年9月9日（土）	農学部 215教室	奈良キャンパス
2月期	令和6年2月17日（土）		

〈社会人入学選考〉（9月・2月）

専修科目に関する口頭試問、出願時に提出した「研究報告書」または「研究計画書」に関する口頭試問および「推薦書」等総合的に判断して、可否を決定します。

専攻	口頭試問	
	10:00～	
農業生産科学専攻	主として志望する専修科目について（専攻ごと）	
水産学専攻		
応用生命化学専攻		
環境管理学専攻		
バイオサイエンス専攻		

■試験日・試験室

試験日		試験室	キャンパス
9月期	令和5年9月9日（土）	農学部 215教室	奈良キャンパス
2月期	令和6年2月17日（土）		

4-8 選考方法 医学研究科

【医学研究科】博士課程

〈一般入学選考〉〈社会人入学選考〉（1月・2月）

学力試験、口頭試問等を総合して合否を決定します。

専攻	外国語		専門科目
	10:00～11:00	11:10～12:10	13:00～15:00
医学系専攻	英語(1)	英語(2)	専攻分野の指導教授による 口頭試問

(1) 外国語は医学研究科内統一問題、筆答、辞書（電子辞書）持ち込み可（電子辞書については通信機能のあるものは不可）

■試験日・試験室

	試験日	試験室	キャンパス
1月募集	令和6年1月6日(土)	医学部 病院棟3階会議室	大阪狭山キャンパス
2月募集	令和6年2月17日(土)		

4-9 選考方法 生物理工学研究科

【生物理工学研究科】博士前期課程

〈学内入学選考〉（9月）

学力試験、口頭試問、学部の成績等を総合して可否を決定します。

専攻	外国語	口頭試問
	10:00～11:30	13:30～
生物工学専攻	英語	主として専修科目について (専攻ごと)
生体システム工学専攻		

(1) 外国語試験では受験者持ち込みの辞書（2冊以内）と研究科から貸与する電子辞書の使用を認めます。

(2) 外国語の評価については、研究科が指定する各種検定等の得点を学力試験の得点にみなして換算することができます。この制度を利用する場合は、外国語を受験する必要はありませんが、受験した場合は高い方の得点を採用し判定します。なお、利用する各種検定等は、原則として出願開始日より2年以内に受験したものに限り、出願時に必ず各種協会等が発行する成績証明書等を提出してください。（みなし得点換算例は右表を参照）

みなし得点	TOEIC L&R (公開)	TOEFL iBT	TOEFL ITP	IELTS
100	700	70	530	5.5
80	560	55	480	4.5
60	420	40	430	3.5

※みなし得点が60点以上となる各種検定等の得点が対象となります。

■試験日・試験室

試験日	試験室	キャンパス
令和5年9月9日（土）	生物理工学部 2号館2階252教室	和歌山キャンパス

〈一般入学選考〉（9月・2月）

学力試験、口頭試問等の結果を総合して可否を決定します。

専攻	外国語	専門科目	口頭試問
	10:00～11:30	12:30～13:30	14:30～
生物工学専攻	英語	生化学、タンパク質工学、細胞生物学、分析化学、植物分子工学、食生産工学、分子生物学、動物生理学、植物生理学、発生工学、微生物学の11科目のうちから1科目選択	主として志望する専修科目について (専攻ごと)
生体システム工学専攻		応用数学、確率統計、生体機能学基礎、電気工学、材料工学、計算科学、材料力学、熱流体工学、計測・制御工学、臨床工学の10科目のうちから1科目選択	

(1) 出願前に、志望する専修科目を担当予定の教員（未定の場合は専攻主任）と、研究計画について十分に相談してください。

(2) 出願後の受験科目の変更はできません。

(3) 外国語試験では受験者持ち込みの辞書（2冊以内）と研究科から貸与する電子辞書の使用を認めます。

(3) 外国語の評価については、研究科が指定する各種検定等の得点を学力試験の得点にみなして換算することができます。この制度を利用する場合は、外国語を受験する必要はありませんが、受験した場合は高い方の得点を採用し判定します。なお、利用する各種検定等は、原則として出願開始日より2年以内に受験したものに限り、出願時に必ず各種協会等が発行する成績証明書等を提出してください。(みなし得点換算例は右表を参照)

みなし得点	TOEIC L&R (公開)	TOEFL iBT	TOEFL ITP	IELTS
100	700	70	530	5.5
80	560	55	480	4.5
60	420	40	430	3.5

※みなし得点が60点以上となる各種検定等の得点が対象となります。

■試験日・試験室

試験日		試験室	キャンパス
9月期	令和5年9月9日(土)	生物理工学部 2号館2階252教室	和歌山キャンパス
2月期	令和6年2月17日(土)		

〈社会人入学選考〉(9月・2月)

専修科目に関する口頭試問、出願時に提出した「研究報告書」または「研究計画書」に関する口頭試問および「推薦書」等を総合的に判断して、可否を決定します。

専攻	口頭試問
	10:00 ~
全専攻	主として志望する専修科目について(専攻ごと)

■試験日・試験室

試験日		試験室	キャンパス
9月期	令和5年9月9日(土)	生物理工学部 2号館2階251教室	和歌山キャンパス
2月期	令和6年2月17日(土)		

【生物理工学研究科】博士後期課程

〈一般入学選考〉（9月・2月）

学力試験、口頭試問等の結果を総合して合否を決定します。

専攻	外国語	口頭試問
	10:00～12:00	13:00～
生物工学専攻	英語	主として志望する専修科目について (専攻ごと)
生体システム工学専攻		

- (1) 出願前に、志望する専修科目を担当予定の教員（未定の場合は専攻主任）と、研究計画について十分に相談してください。
- (2) 生物理工学研究科博士前期課程修了および修了予定の志願者については、外国語科目を免除します。
- (3) 外国語試験では受験者持ち込みの辞書（2冊以内）に限り使用を認めます。（ただし電子辞書は不可）

■試験日・試験室

試験日		試験室	キャンパス
9月期	令和5年9月9日（土）	生物理工学部 2号館2階251教室	和歌山キャンパス
2月期	令和6年2月17日（土）		

〈社会人入学選考〉（9月・2月）

専修科目に関する口頭試問、出願時に提出した「研究報告書」または「研究計画書」に関する口頭試問および「推薦書」等を総合的に判断して、合否を決定します。

専攻	口頭試問
	13:00～
生物工学専攻	主として志望する専修科目について（専攻ごと）
生体システム工学専攻	

■試験日・試験室

試験日		試験室	キャンパス
9月期	令和5年9月9日（土）	生物理工学部 2号館2階251教室	和歌山キャンパス
2月期	令和6年2月17日（土）		

4-10 選考方法 システム工学研究科

【システム工学研究科】博士前期課程

〈学内入学選考〉（9月）

学力試験（(1) 参照）、口頭試問、学部の成績等を総合して合否を決定します。

専攻	口頭試問
	10:00～
システム工学専攻	主として専修科目について（コースごと）

(1) 外国語の評価については、研究科が指定する各種検定等の得点を学力試験の得点にみなして換算します。なお、利用する各種検定等は、原則として出願開始日より2年以内に受験したものに限り、出願時に必ず各種協会等が発行する成績証明書等を提出してください。（みなし得点換算方法は広島キャンパス問い合わせ先で確認できます。）

■試験日・試験室

試験日	試験室	キャンパス
令和5年9月9日（土）	工学部 C館2階215教室	広島キャンパス

〈一般入学選考〉（9月・2月）

学力試験、口頭試問等の結果を総合して合否を決定します。

コース		外国語	専門科目	口頭試問
		10:00～11:00	11:30～12:30	13:30～
システム工学専攻	生物化学コース	英語	無機・物理化学、有機・高分子化学、環境分析化学、食品化学、生化学、細胞生物学、微生物学の7科目のうちから1科目選択	主として 専修科目について （コースごと）
	機械工学コース		熱力学、流体力学、材料力学、機械材料、生産加工、制御工学、機械力学の7科目のうちから1科目選択	
	ロボティクスコース		力学一般、電気電子工学、制御工学、ロボット工学の4科目のうちから1科目選択	
	電子情報工学コース		応用数学、電磁気学、電気回路、計測・制御、情報処理の5科目のうちから1科目選択	
	情報コース		確率統計、情報処理、情報システム工学、情報メディア工学の4科目のうちから1科目選択	
	建築コース		建築意匠、建築計画、都市計画、建築環境、建築設備、建築構造、構造力学、材料力学の8科目のうちから1科目選択	

(1) 受験当日の受験科目の変更はできません。

(2) 外国語については辞書2冊以内に限り持ち込みを認めます。（ただし、電子辞書は不可）

次ページに続く

4-10 選考方法 システム工学研究科

(3) 外国語の評価については、研究科が指定する各種検定等の得点を学力試験の得点にみなして換算することができます。この制度を利用する場合は、外国語を受験する必要はありませんが、受験した場合は高い方の得点を採用し判定します。なお、利用する各種検定等は、原則として出願開始日より2年以内に受験したものに限り、出願時に必ず各種協会等が発行する成績証明書等を提出してください。(みなし得点換算例は右表を参照)

みなし得点	TOEIC L&R (公開)	TOEFL iBT	TOEFL ITP	IELTS
100	700	70	530	5.5
80	560	55	480	4.5
60	420	40	430	3.5

※みなし得点が60点以上となる各種検定等の得点が対象となります。

■試験日・試験室

試験日		試験室	キャンパス
9月期	令和5年9月9日(土)	工学部 C号館2階215教室	広島キャンパス
2月期	令和6年2月17日(土)		

■インターネット出願入力時の注意事項

1. 「受験科目」(専門科目)欄には、選択する1科目を入力してください。
(受験当日の受験科目の変更はできません。)

〈社会人入学選考〉(9月・2月)

専修科目に関する口頭試問、出願時に提出した「研究報告書」または「研究計画書」に関する口頭試問および「推薦書」等を総合的に判断して、可否を判定します。

専攻	口頭試問
	10:00～
システム工学専攻	主として志望する専修科目について(コースごと)

■試験日・試験室

試験日		試験室	キャンパス
9月期	令和5年9月9日(土)	工学部 C号館2階215教室	広島キャンパス
2月期	令和6年2月17日(土)		

【システム工学研究科】博士後期課程

〈一般入学選考〉（9月・2月）

学力試験、口頭試問等の結果を総合して合否を決定します。

専攻	外国語	口頭試問
	10:00～11:00	11:30～
システム工学専攻	英語	主として専修科目について (コースごと)

(1) 外国語については、辞書2冊以内に限り持ち込みを認めます。(ただし、電子辞書は不可)

(2) システム工学研究科博士前期課程修了および修了予定の志願者については、外国語科目を免除します。

■試験日・試験室

試験日		試験室	キャンパス
9月期	令和5年9月9日(土)	工学部 C号館2階214教室	広島キャンパス
2月期	令和6年2月17日(土)		

〈社会人入学選考〉（9月・2月）

専修科目に関する口頭試問、出願時に提出した「研究報告書」または「研究計画書」に関する口頭試問および「推薦書」等総合的に判断して、合否を決定します。

専攻	口頭試問
	11:00～
システム工学専攻	主として専修科目について

■試験日・試験室

試験日		試験室	キャンパス
9月期	令和5年9月9日(土)	工学部 C号館2階214教室	広島キャンパス
2月期	令和6年2月17日(土)		

4-11 選考方法 産業理工学研究科

【産業理工学研究科】博士前期課程

〈学内入学選考〉（9月）

学力試験、口頭試問、学部の成績等を総合して可否を決定します。

専攻	外国語	口頭試問
	9:30～10:30	11:00～
産業理工学専攻	英語	主として専修科目について (コースごと)

(1) 外国語については辞書の持ち込みを認めます。(ただし、電子辞書は不可)

■試験日・試験室

試験日	試験室	キャンパス
令和5年9月9日(土)	産業理工学部 1号館2階1201教室	福岡キャンパス

〈一般入学選考〉（9月・2月）

学力試験、口頭試問等の結果を総合して可否を決定します。

コース		外国語	専門科目	口頭試問
		9:30～10:30	11:00～12:00	13:00～
産業理工学専攻	生物環境化学コース	英語	物理化学、無機・分析化学、有機化学、環境科学、高分子化学、生物化学の中から1科目選択	主として 専修科目について (コースごと)
	電子情報工学コース		数学、物理学、電磁気学、電気回路、情報処理の中から1科目選択	
	社会環境科学コース		造形計画、環境計画、構造計画、経営学、会計学の中から1科目選択	

(1) 受験当日の受験科目の変更はできません。

(2) 外国語については辞書の持ち込みを認めます。(ただし、電子辞書は不可)

■試験日・試験室

試験日		試験室	キャンパス
9月期	令和5年9月9日(土)	産業理工学部 1号館2階1201教室	福岡キャンパス
2月期	令和6年2月17日(土)	産業理工学部 1号館2階1206教室	

■インターネット出願入力時の注意事項

1. 「受験科目」(専門科目)欄には、専攻する1科目を入力してください。
(受験当日の受験科目の変更はできません。)

〈社会人入学選考〉（9月・2月）

専修科目に関する口頭試問、出願時に提出した「研究報告書」または「研究計画書」に関する試問および「推薦書」等総合的に判断して、可否を決定します。

専攻	口頭試問
	10:00～
産業理工学専攻	主として志望する専修科目について（コースごと）

■試験日・試験室

試験日		試験室	キャンパス
9月期	令和5年9月9日（土）	産業理工学部 1号館2階1202教室	福岡キャンパス
2月期	令和6年2月17日（土）	産業理工学部 1号館2階1207教室	

【産業理工学研究科】博士後期課程

〈一般入学選考〉（9月・2月）

学力試験、口頭試問等の結果を総合して合否を決定します。

専攻	外国語	口頭試問
	10:00～12:00	13:00～
産業理工学専攻	英語	主として志望する専修科目について (コースごと)

(1) 外国語について辞書の持ち込みを認めます。(ただし、電子辞書は不可)

(2) 産業理工学研究科博士前期課程修了および修了予定の志願者については、外国語科目を免除します。

■試験日・試験室

試験日		試験室	キャンパス
9月期	令和5年9月9日(土)	産業理工学部 1号館2階1203教室	福岡キャンパス
2月期	令和6年2月17日(土)	産業理工学部 1号館2階1208教室	

〈社会人入学選考〉（9月・2月）

専修科目に関する口頭試問、出願時に提出した「研究報告書」または「研究計画書」に関する試問および「推薦書」等総合的に判断して、合否を決定します。

専攻	口頭試問
	13:00～
産業理工学専攻	主として志望する専修科目について(コースごと)

■試験日・試験室

試験日		試験室	キャンパス
9月期	令和5年9月9日(土)	産業理工学部 1号館2階1202教室	福岡キャンパス
2月期	令和6年2月17日(土)	産業理工学部 1号館2階1207教室	

5

その他

その他 82

キャンパスマップ 86

アクセスマップ 87

5 その他

【近畿大学大学院 研究科・専攻 設置年】

研 究 科	専 攻	設 置 年
法学研究科	法律学専攻	(修士・昭和45年) (博士・昭和47年)
商学研究科	商学専攻	(修士・昭和27年) (博士・昭和45年)
経済学研究科	経済学専攻	(修士・平成元年) (博士・平成3年)
総合理工学研究科	理学専攻	(修士・平成11年) (博士・平成11年)
	物質系工学専攻	(修士・平成11年) (博士・平成11年)
	メカニクス系工学専攻	(修士・平成11年) (博士・平成11年)
	エレクトロニクス系工学専攻	(修士・平成11年) (博士・平成11年)
	環境系工学専攻	(修士・平成11年) (博士・平成11年)
	東大阪モノづくり専攻	(修士・平成16年) (博士・平成20年)
	建築デザイン専攻	(修士・平成27年)
薬学研究科	薬学専攻	(博士・昭和60年)
	薬科学専攻	(修士・平成22年) (博士・平成24年)
総合文化研究科	日本文学専攻	(修士・平成26年)
	英語英米文学専攻	(修士・平成26年)
	文化・社会学専攻	(修士・平成26年)
	心理学専攻	(修士・平成26年)
農学研究科	農業生産科学専攻	(修士・平成17年) (博士・平成17年)
	水産学専攻	(修士・昭和61年) (博士・平成元年)
	応用生命化学専攻	(修士・昭和60年) (博士・平成元年)
	環境管理学専攻	(修士・平成17年) (博士・平成17年)
	バイオサイエンス専攻	(修士・平成17年) (博士・平成17年)
医学研究科	医学系専攻	(博士・平成20年)
生物理工学研究科	生物工学専攻	(修士・平成9年) (博士・平成11年)
	生体システム工学専攻	(修士・平成26年) (博士・平成28年)
システム工学研究科	システム工学専攻	(修士・平成17年) (博士・平成17年)
産業理工学研究科	産業理工学専攻	(修士・平成25年) (博士・平成27年)
実学社会起業イノベーション学位プログラム		(修士・令和5年)

【研究科・専攻・課程・授与する学位】

研究科	専攻	課程	授与する学位	
			修士	博士
法学研究科	法律学専攻	博士前期課程 博士後期課程	修士（法学）	博士（法学）
商学研究科	商学専攻	博士前期課程 博士後期課程	修士（商学）	博士（商学）
経済学研究科	経済学専攻	博士前期課程 博士後期課程	修士（経済学）	博士（経済学）
総合理工学研究科	理学専攻	博士前期課程 博士後期課程	修士（理学）	博士（理学）
	物質系工学専攻	博士前期課程 博士後期課程	修士（工学）	博士（工学）
	メカニクス系工学専攻	博士前期課程 博士後期課程	修士（工学）	博士（工学）
	エレクトロニクス系工学専攻	博士前期課程 博士後期課程	修士（工学）	博士（工学）
	環境系工学専攻	博士前期課程 博士後期課程	修士（工学）	博士（工学）
	建築デザイン専攻	修士課程	修士（建築学）	—
	東大阪モノづくり専攻	博士前期課程 博士後期課程	修士（工学）	博士（工学）
薬学研究科	薬学専攻	博士課程	—	博士（薬学）
	薬科学専攻	博士前期課程 博士後期課程	修士（薬科学）	博士（薬科学）
総合文化研究科	日本文学専攻	修士課程	修士（文学）	—
	英語英米文学専攻	修士課程	修士（文学）	—
	文化・社会学専攻	修士課程	修士（文化学） 修士（社会学）	—
	心理学専攻	修士課程	修士（心理学）	—
農学研究科	農業生産科学専攻	博士前期課程 博士後期課程	修士（農学）	博士（農学）
	水産学専攻	博士前期課程 博士後期課程	修士（農学）	博士（農学）
	応用生命化学専攻	博士前期課程 博士後期課程	修士（農学）	博士（農学）
	環境管理学専攻	博士前期課程 博士後期課程	修士（農学）	博士（農学）
	バイオサイエンス専攻	博士前期課程 博士後期課程	修士（農学）	博士（農学）
医学研究科	医学系専攻	博士課程	—	博士（医学）
生物理工学研究科	生物工学専攻	博士前期課程 博士後期課程	修士（工学）	博士（工学）
	生体システム工学専攻	博士前期課程 博士後期課程	修士（工学）	博士（工学）
システム工学研究科	システム工学専攻	博士前期課程 博士後期課程	修士（工学）	博士（工学）
産業理工学研究科	産業理工学専攻	博士前期課程 博士後期課程	修士（工学）	博士（工学）
実学社会起業イノベーション学位プログラム		修士課程	修士（学術）	—

【令和4年度までの学位授与数】

研 究 科	専 攻	修 士	博 士	
			課 程	論 文
法学研究科	法律学専攻	422	5	5
商学研究科	商学専攻	1,455	18	8
経済学研究科	経済学専攻	362	1	0
*化学研究科	化学専攻	333	16	20
*工学研究科	応用化学専攻	471	47	41
	機械工学専攻	186	2	15
	土木工学専攻	136	6	4
	電子工学専攻	226	5	7
	建築学専攻	138		
	合 計	1,157	60	67
総合理工学研究科	理学専攻	827	49	8
	物質系工学専攻	904	45	5
	メカニクス系工学専攻	671	7	6
	エレクトロニクス系工学専攻	765	16	3
	環境系工学専攻	528	9	10
	建築デザイン専攻	81		
	東大阪モノづくり専攻	93	3	2
	合 計	3,869	129	34
薬学研究科	薬科学専攻	184	16	8
	薬学専攻	442	74	92
	合 計	626	90	100
*文芸学研究科	日本文学専攻	138		
	英語英米文学専攻	43		
	国際文化専攻	136		
	合 計	317		
総合文化研究科	日本文学専攻	25		
	英語英米文学専攻	5		
	文化・社会学専攻	63		
	心理学専攻	40		
	合 計	133		
農学研究科	*農学専攻	165	23	12
	水産学専攻	339	54	12
	応用生命化学専攻	697	53	30
	*国際資源管理学専攻	35		
	農業生産科学専攻	215	11	2
	環境管理学専攻	192	26	8
	バイオサイエンス専攻	268	24	5
	合 計	1,911	191	69

研 究 科	専 攻	修 士	博 士	
			課 程	論 文
医学研究科	*生理学系専攻		32	41
	*病理学系専攻		18	27
	*社会医学系専攻		5	17
	*内科学系専攻		297	122
	*外科学系専攻		346	136
	医学系専攻		267	89
	合 計		965	432
生物理工学研究科	生物工学専攻	416	43	11
	*電子システム情報工学専攻	184	5	0
	*機械制御工学専攻	160		
	生体システム工学専攻	152	3	0
	合 計	912	51	11
*工業技術研究科	物質化学専攻	131	3	1
	建築学専攻	108		
	システム制御専攻	151		
	生産システム専攻	63		
	システム設計工学専攻		7	0
	合 計	453	10	1
システム工学研究科	システム工学専攻	666	11	5
産業理工学研究科	産業理工学専攻	155	3	3
*産業技術研究科	物質工学専攻	236	11	4
	電子情報工学専攻	135	10	8
	造形学専攻	116	1	2
	経営工学専攻	126	9	1
	合 計	613	31	15
総 計		13,384	1,581	770

※印は学生募集停止

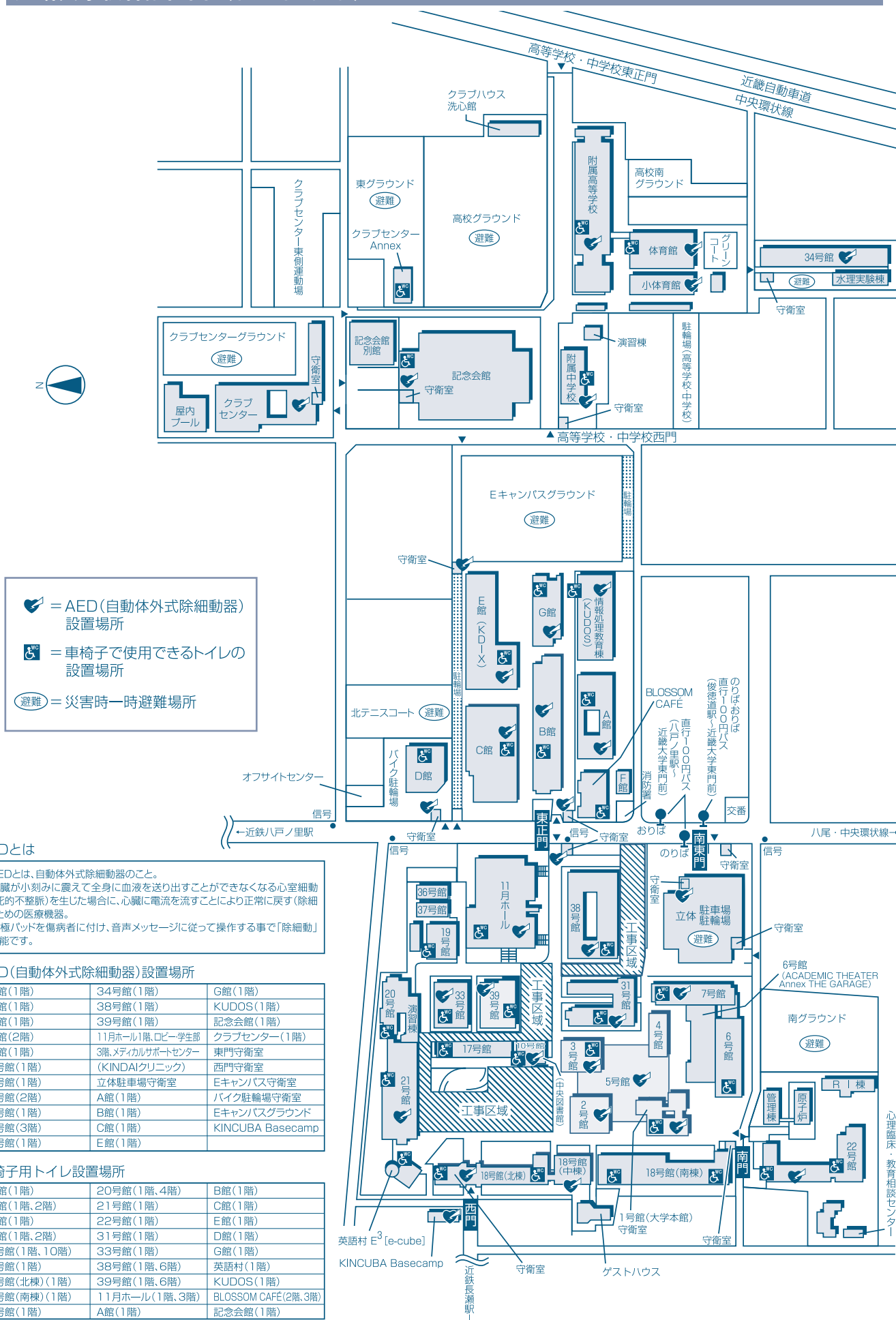
【教育職員免許状（中学校・高等学校専修）】

中学校・高等学校教諭一種免許状をすでに取得しているものが、本学大学院博士前期課程（修士課程）を修了後、免許状の授与申請をすれば、中学校・高等学校教諭専修免許状を取得することができます（薬学研究科・医学研究科を除く）。免許状を取得するためには、研究科の所定の科目を修得しなければなりません。

研究科	専攻	免許状の種類	
法学研究科	法律学専攻	高等学校専修	公民
商学研究科	商学専攻	高等学校専修	商業
経済学研究科	経済学専攻	高等学校専修	地理歴史
		高等学校専修	公民
		高等学校専修	商業
総合理工学研究科	理学専攻	中学校専修	数学・理科
		高等学校専修	数学・理科
	物質系工学専攻	中学校専修	理科
		高等学校専修	理科
	メカニクス系工学専攻	高等学校専修	工業
	エレクトロニクス系工学専攻	高等学校専修	工業
環境系工学専攻	高等学校専修	工業	
総合文化研究科	日本文学専攻	中学校専修	国語
		高等学校専修	国語
	英語英米文学専攻	中学校専修	英語
		高等学校専修	英語
	文化・社会学専攻	中学校専修	社会
		高等学校専修	地理歴史
		高等学校専修	公民
	心理学専攻	高等学校専修	公民
農学研究科	農学生産科学専攻	高等学校専修	農業
	水産学専攻	高等学校専修	水産
	応用生命化学専攻	中学校専修	理科
		高等学校専修	理科
	環境管理学専攻	高等学校専修	農業
	バイオサイエンス専攻	中学校専修	理科
		高等学校専修	理科
生物理工学研究科	生物工学専攻	中学校専修	理科
		高等学校専修	理科
	生体システム工学専攻	中学校専修	数学
		高等学校専修	数学
システム理工学研究科	システム工学専攻	中学校専修	理科
		高等学校専修	理科
		中学校専修	技術
		高等学校専修	工業
		高等学校専修	情報
産業理工学研究科	産業理工学専攻	高等学校専修	工業

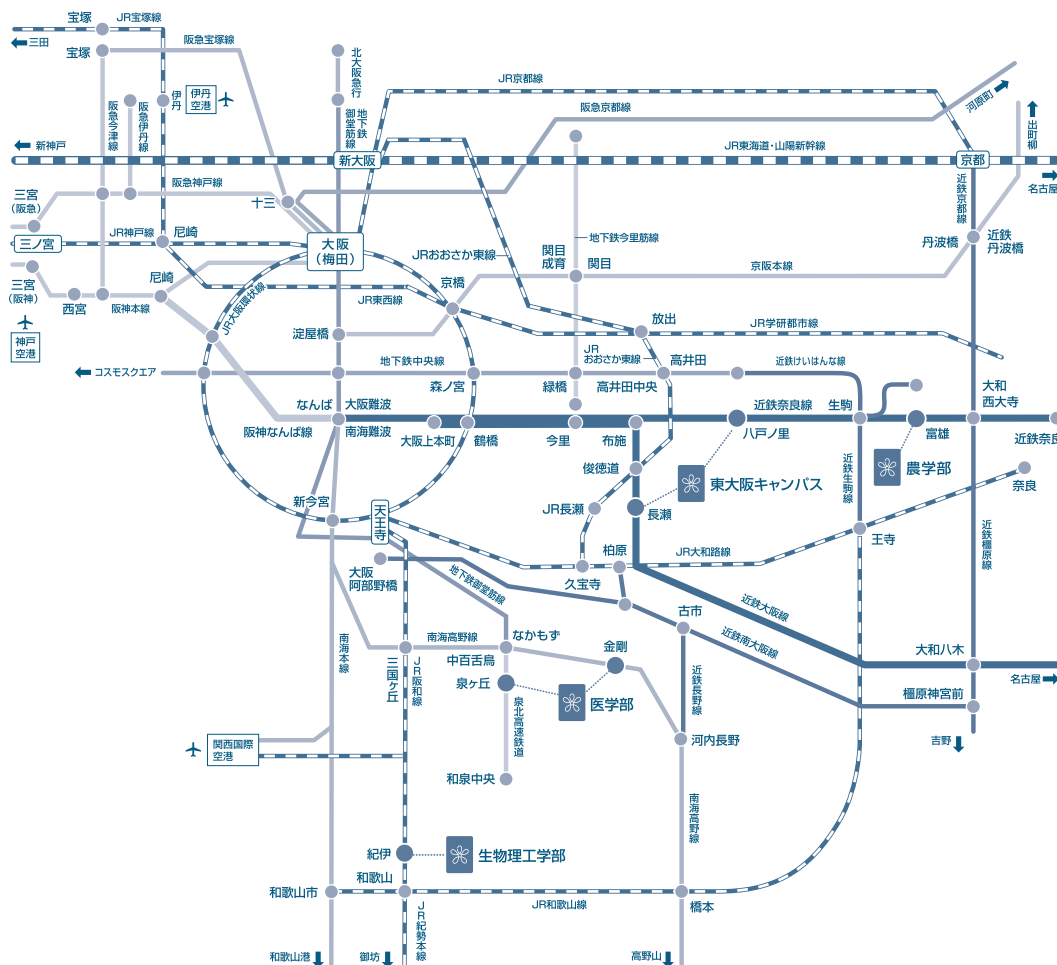
CAMPUS MAP

近畿大学校舎配置図 (令和5年4月現在)



ACCESS MAP

東大阪・大阪狭山・奈良・和歌山キャンパス



東大阪キャンパス

- 法学研究科 法学部
- 商学研究科 経営学部
- 経済学研究科 経済学部
- 総合理工学研究科 理工学部 建築学部
- 薬学研究科 薬学部
- 総合文化研究科 文芸学部・総合社会学部

〒577-8502 大阪府東大阪市小若江3-4-1

アクセス方法 ● 近鉄大阪線「長瀬」駅下車 徒歩約10分、近鉄奈良線「八戸ノ里」駅下車 徒歩約20分、JR おおさか東線「長瀬」駅下車 徒歩約20分

大阪狭山キャンパス

- 医学研究科 医学部

〒589-8511 大阪府大阪狭山市大野東377-2

TEL (072) 366-0221 FAX (072) 366-0206

アクセス方法 ● 南海高野線「金剛」駅または泉北高速鉄道「泉ヶ丘」駅下車 バス約15分

奈良キャンパス

- 農学研究科 農学部

〒631-8505 奈良県奈良市中町3327-204

TEL (0742) 43-1849 FAX (0742) 43-1155

アクセス方法 ● 近鉄奈良線「富雄」駅下車 バス約10分

和歌山キャンパス

- 生物理工学研究科 生物理工学部

〒649-6493 和歌山県紀の川市西三谷930

TEL (0736) 77-3888 FAX (0736) 77-7011

アクセス方法 ● JR 阪和線「紀伊」駅下車 近畿大学行バス約20分

広島キャンパス



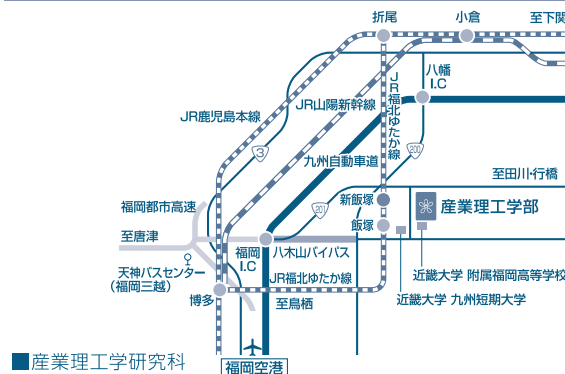
- システム工学研究科 工学部

〒739-2116 広島県広島市高屋うめの辺1

TEL (082) 434-7006 FAX (082) 434-7011

アクセス方法 ● JR 山陽本線「西高屋」駅下車 バス約5分

福岡キャンパス



- 産業理工学研究科 産業理工学部

〒820-8555 福岡県飯塚市柏の森11-6

TEL (0948) 22-5655 FAX (0948) 23-0536

アクセス方法 ● JR 福北ゆたか線「新飯塚」駅下車 バス約5分

5

その他

ノートパソコン必携化について

近畿大学では、建学の精神「実学教育と人格の陶冶」のもと、「人に愛される人、信頼される人、尊敬される人を育成すること」を教育の目的とし、この理念に共感する入学者を国内外から広く受け入れ、皆さんが心ゆくまで学べる環境づくりに全力で取り組んでおります。

新型コロナウイルス感染症拡大を防ぐ目的で、従来の対面授業に加え、メディア授業の利用・促進・普及が急速に進展することとなりました。これからの大学教育は、学生が必要とする時に「いつでも、どこでも」デジタル化された学習コンテンツを利用できる環境で行われるようになり、学生生活をおくる上でパソコンは必携すべきツールとなります。また、本学のアドミッション・ポリシー（入学者の受け入れ方針）には「社会のニーズに対応できる実学や教養及び国際性を身につけたい人」という項目がございます。それは情報通信技術（ICT）を十分に活用できる能力を有し、Society5.0やデジタルトランスフォーメーション（DX）といった言葉のもと、今後ますます情報化が進む社会において必要とされる人材となりうる学生を受け入れ、育成するという方針です。

この方針のもと、学生自身の主体的で自由な学び、オンラインと対面を組み合わせたいつでもどこでも学べる環境づくり、学習教材やレポート等のペーパーレス化を推進するため、令和4年度の入学生よりノートパソコンを必携化することにいたしました。

つきましては、下記のWebサイトにて公開しております学部学科・研究科ごとの性能要件を参考に、ノートパソコンをご準備いただく必要があることをご理解くださいますようお願いいたします。

【学部学科・研究科ごとの性能要件】

<https://www.kindai.ac.jp/for-students/laptop/>

※既に要件を満たすノートパソコンをお持ちの場合は、新たに購入される必要はありません。

1. Windows11に対応したPCについて

Windows10からWindows11へのアップグレードに必要な要件は、下記のMicrosoft社公式Webサイトをご参照ください。

《Windows11のシステム要件》

<https://www.microsoft.com/ja-jp/windows/windows-11-specifications>

2. ソフトウェアについて

近畿大学の学生は在学中のみMicrosoft Office 製品をはじめ授業等で利用するソフトウェアを無償でご利用いただけますので、あらかじめインストールされたパソコンをご購入いただく必要はございません。詳しくはKUDOS WEBをご覧ください。

《KUDOS WEB BYODについて》

<https://kudos.kindai.ac.jp/cms/html/byod.html>

3. ノートパソコンの購入およびレンタルについて

標準スペックを備えたノートパソコンを近畿大学生活協同組合及び株式会社近大アシストから購入もしくはレンタルが可能です。また、Apple 公式のオンラインストアではアカデミック価格で購入できる専用のWebサイトがございますのでご確認ください。

ノートパソコン必携化に関するお問い合わせ先

各学部学生センター <https://www.kindai.ac.jp/contact/#cont02>

近畿大学大学院

大学院・共通教育学生センター

東大阪市小若江3-4-1
TEL.(06)4307-3036